参考資料

計画段階評価について
中国横断自動車道 岡山米子線
（米子～境港）
意見聴取結果

令和8年11月2日

国土交通省　中国地方整備局

目次

1. 意見聴取の概要 ・・・ 2

2. 意見聴取の結果（回答者属性） ・・・ 8

3. 意見聴取の結果（自由意見） ・・・ 11

4. 意見聴取の結果（クロス集計） ・・・ 18

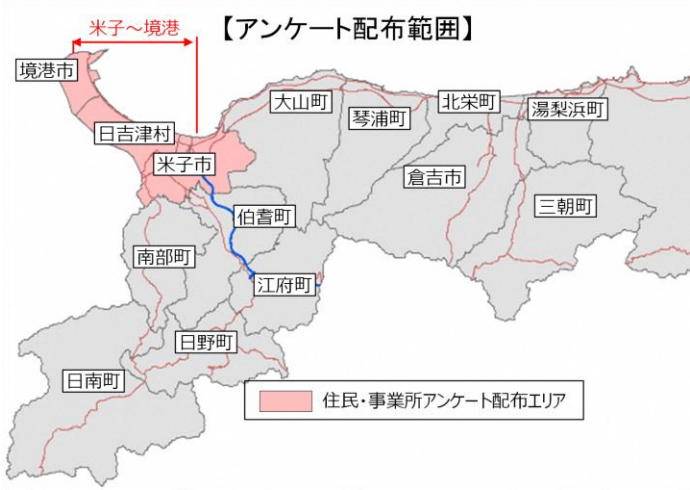
5. 意見聴取の結果（否定的意見） ・・・ 43

1. 意見聴取の概要

1-1.意見聴取の方法

■調査期間

令和7年8月～10月



■意見聴取の方法と対象者

対象者・実施方法		
アンケート	【地域住民】 住民へ郵送配布（回収方法：郵送、WEB回答）	約88,800部
	米子市	約72,300部
	境港市	約14,900部
	日吉津村	約1,600部
	【企業及び団体】 周辺関係企業へ郵送配布（回収方法：郵送、WEB回答）	約2,800部
	沿線：米子市・境港市・日吉津村	約900部
	広域：鳥取県・島根県・岡山県トラック協会　※米子・境港・日吉津は沿線地域に計上	約1,900部
	【道路利用者等】 周辺の公共施設、道の駅、ＰＡ、観光施設、商業施設に常設（回収方法：郵送、WEB回答、投函）	約900部（1箇所100部、9箇所）
インタビュー	【道路利用者等】 道の駅・観光施設来訪者への聞き取り	４箇所
ヒアリング	【関係自治体及び団体】 鳥取県・関係市・団体へ意見照会	約52団体・企業
	自治体：鳥取県、米子市、境港市、日吉津村	
	各団体：商工会議所、警察署、消防署、空港・港湾管理者、農協・漁協、観光協会、トラック協会　等	
オープンハウス	【地域住民】 施設来訪者への情報提供、会場でのアンケート	
	米子市役所、みなとテラス、イオンモール日吉津	3箇所（合計：10日間）

1-1.意見聴取の方法

■質問内容

・意見聴取では、道路計画を検討する際に重視すべき項目、配慮すべき項目等を確認するための質問を実施。

【質問票】
（回答は回答はがきに記入してください）

質問1 今回、3つのルート帯案を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要だと思いますか？
以下の重視すべき項目①～⑪から、特に重視すべきと思われる項目について最大3つまで選んでいただき、番号とその理由・内容をお書きください。

政策目標

① 輸送時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること
② 自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること
③ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること
④ 救急医療機関へ早く、確実に、安全に搬送できること
⑤ 交通事故が起きにくいこと

配慮すべき事項

⑥ 道路沿線の大気質や騒音の影響が小さいこと
⑦ 家屋等の移転や集落への影響等、生活環境への影響が小さいこと
⑧ 工事中の交通規制の影響が小さいこと
⑨ 自然環境や景観への影響が小さいこと
⑩ 建設や維持管理に要する費用が安いこと
⑪ その他（上記以外の項目についてご自由にお書きください）

質問2 道路整備における環境に関する懸念事項や配慮した方が良いと思うことなどがありましたら、ご自由にお書きください。
（大気質・騒音・自然環境・景観など）

質問3 インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきだと思いますか？
以下の①～⑤の項目について、５段階で評価してください。

① 工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと
② 市役所・役場や防災拠点からアクセスしやすいこと
③ 観光施設・観光地などの観光拠点にアクセスしやすいこと
④ 救急医療機関にアクセスしやすいこと
⑤ 市街地や居住地からアクセスしやすいこと
⑥ その他（上記以外の項目についてご自由にお書きください）

質問4 その他、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良いと思うことがありましたら、ご自由にお書きください。

道路計画検討に際し、「重視すべき項目」、「配慮すべき項目」を確認

周辺アクセス検討に際し、「配慮すべき項目」を確認

上記以外の「配慮すべき項目」を確認

1-2.意見聴取の方法・対象者と回収率

調査種別	対象者		実施期間	対象地域・団体等	配布件数	回収件数	回収率
アンケート	地域住民	米子市	令和7年8月25日（月）～9月30日（火）	米子市	72,288	8,212 (うちWEB:1,782)	11.4%
		境港市		境港市	14,851	2,118 (うちWEB:371)	14.3%
		日吉津村		日吉津村	1,611	239 (うちWEB:50)	14.8%
		その他・不明		未記入、その他	－	149 (うちWEB:57)	－
		合計	－	－	**88,750**	**10,718**	**12.1%**
	事業所	事業所	令和7年8月25日（月）～9月30日（火）	米子市、境港市、日吉津村の事業所、 トラック協会（鳥取県、島根県、岡山県）の会員	2,750	623 (うちWEB:131)	22.7%
		合計	－	－	**2,750**	**623**	**22.7%**
	道路利用者	常設	令和7年8月25日（月）～9月30日（火）	道の駅、官公庁等（9箇所）	－	47	－
		インタビュー調査	令和7年9月13日（土）	道の駅琴の浦、道の駅大山恵みの里、 米子自動車道　大山パーキングエリア（上り）、 夢みなとタワー	－	214	－
		WEB調査	令和7年8月6日（水）～9月30日（火）	倉吉河川国道事務所のHPにWEBアンケート掲載	－	36	－
		オープンハウス	令和7年9月8日（月）～9月12日（金）、 9月24日（水）、 9月26日（金）～9月29日（月）	米子市役所、みなとテラス、イオンモール日吉津	－	28	－
		合計	－	－	**－**	**325**	**－**
	合計		－	－	**－**	**11,666**	**－**
ヒアリング	関係自治体		令和7年9月～10月	沿線地域の自治体		4	団体
	商工会議所			商工会議所		3	団体
	警察署、消防署			警察署、消防署		4	団体
	空港・港湾・漁港			空港、港湾、漁港		4	団体
	農協・漁協			農協、漁協		2	団体
	観光協会等			観光協会、DMO		3	団体
	道路利用者団体			トラック協会、バス協会、タクシー協会		5	団体
	医療施設等			救急医療機関		3	団体
	沿線事業所等			小売店　等		24	企業
	合計		－	－		**52**	**団体・企業**

1-3.アンケート及び広報等の取り組み

○ 住民及び事業所を対象とした郵送アンケートの実施と共に、常設アンケート、WEBアンケート、インタビュー調査、ヒアリングも実施。
○ 意見聴取の実施に合わせて、回収率向上のために、ポスターの掲示、新聞広告への掲載等も行った。

▼郵送アンケート



▼常設アンケート



▼WEBアンケート



▼インタビュー調査



▼ポスターの掲示



▼HP画面作成



▼ヒアリング調査



▼新聞広告



1-4.オープンハウス

○ 地域の状況及び道路・交通の課題、また別途実施しているアンケート調査の内容（配慮事項、IC設置検討など）に関わるパネル等を展示し、来場者に直接説明することで事業に対する理解を深めてもらうこと、また、アンケート調査の回収率を高めることを目的に、オープンハウスを開催した。

▼オープンハウスの開催概要

開催場所	開催期間＜日数＞	開催時間
米子市役所	令和7年9月8日（月）～9月12日（金）＜5日間＞	10:00～17:00
みなとテラス	令和7年9月24日（水）＜1日＞	
イオンモール日吉津	令和7年9月26日（金）～9月29日（月）＜4日間＞	

▼オープンハウスの開催場所



▼オープンハウスの来場者数・アンケート回収数

開催場所	来場者数	アンケート回収数
米子市役所	182	28
みなとテラス	12	
イオンモール日吉津	586	
合計	780	

▼オープンハウスでの展示パネル（一部抜粋）





▼開催状況

＜米子市役所＞





＜みなとテラス＞





＜イオンモール日吉津＞





２．意見聴取の結果
（回答者属性）

2.意見聴取の結果（回答者属性）
2-1.アンケート回答者の属性

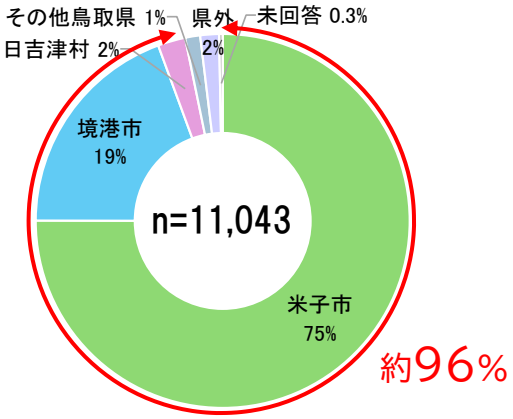
アンケート

- アンケート回答数は11,666件。
- 住民・道路利用者の回答者の住所は、米子市、境港市、日吉津村が全体の96%を占める。
- 回答した事業所の所在地は、米子市、境港市、日吉津村が全体の約3割を占める。業種は、運輸業・郵便業が約6割を占める。

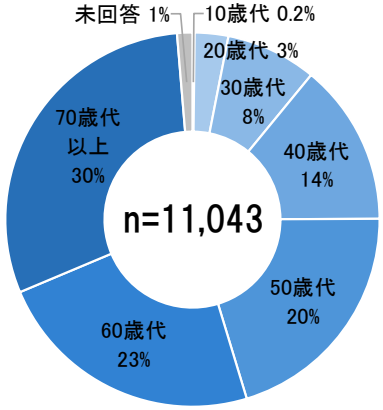
＜住民※1・道路利用者※2＞

※1:住民とは、郵送にてアンケート配布された方で郵送もしくはWEBにて回答された方が対象
※2:道路利用者とは、道の駅、官公庁等に常設されていた投函箱に投函された方、インタビュー調査による回答された方、WEBにて回答された方、オープンハウスで回答された方が対象

住所



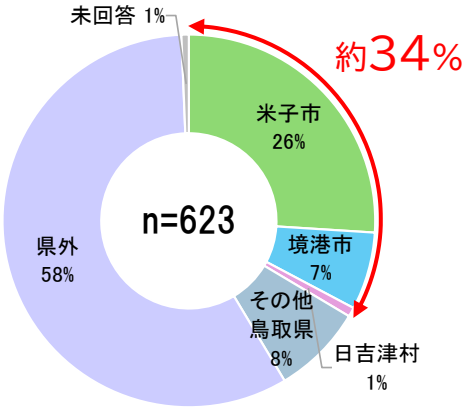
年代



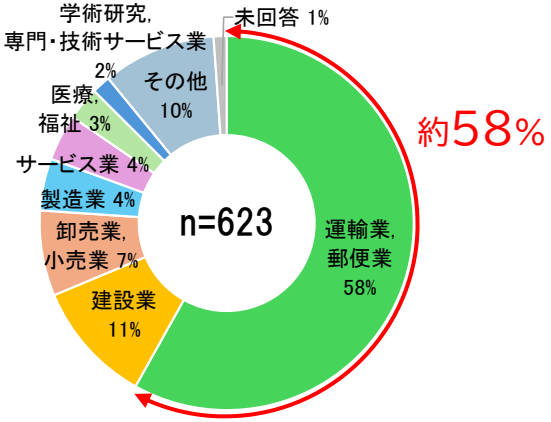
＜事業所※3＞

※3:事業所とは、郵送にてアンケート配布された事業所の方で郵送もしくはWEBにて回答された方が対象

住所



業種



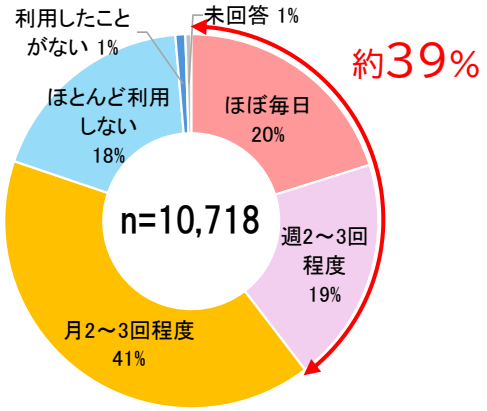
2.意見聴取の結果（回答者属性）
2-2.アンケート回答者の利用頻度・目的

アンケート

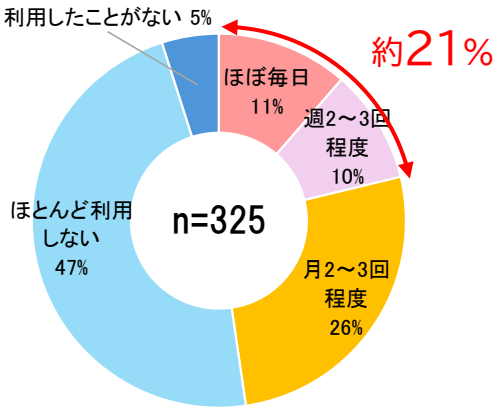
○ 利用頻度は、週2～3回以上利用の回答が、住民と事業所は約4割、道路利用者は約2割である。
○ 利用目的は、通勤、家事・買い物、仕事、観光・レジャー、営業等と多目的に利用されている。

現在の米子～境港間の利用頻度

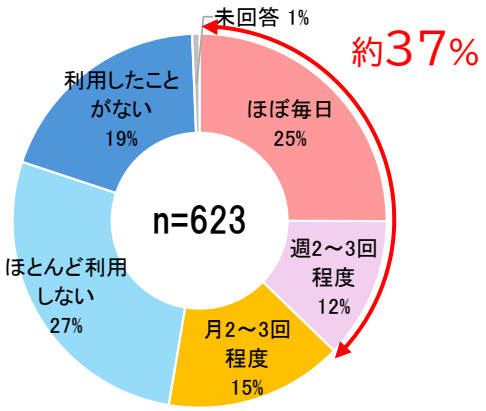
住民



道路利用者



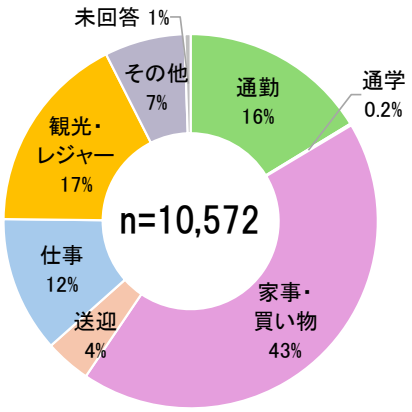
事業所



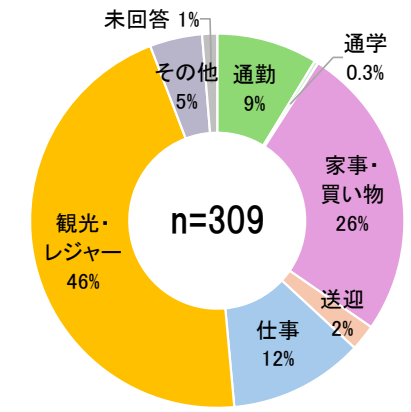
現在の米子～境港間の利用目的

※利用頻度で「⑤利用したことがない」を選ばれた方および未回答は除く。

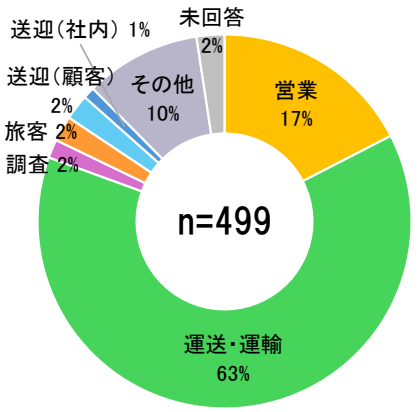
住民



道路利用者



事業所



３．意見聴取の結果
（自由意見）

3.意見聴取の結果（自由意見）
3-1.ルート帯検討時に重視すべき項目（アンケートによる自由意見）

○政策目標については、特に「**①輸送時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること**」、「**②自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること**」に関する意見が多く、時間短縮や産業活性化、代替路の必要性等の意見が多く寄せられた。

■①～⑤に関する自由意見

【自由意見回答数：14,651件】

分類	項目	意見数	主な意見	回答者属性
政策目標	①輸送時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること	2,586件	米子インターを下りてから境港までの時間がもう少し短縮できたらと考えている。短縮によって、観光に誘致できることや、運搬時間も短くなる。	住民/境港市/女性/50歳代
			輸送時間の短縮や、移動時間の予測が容易になる事は、交通インフラとして当たり前。また、産業活動を支援することは間接的に地域住民の経済的な恩恵に帰結すると考えられるから。	住民/境港市/男性/50歳代
			米子ICから境港間を通過する車両と市内移動する車を分けることで、大幅な渋滞緩和が期待できる。	住民/米子市/男性/50歳代
	②自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること	2,462件	地震が比較的多く、原発も近くにあるので、避難経路の選択肢が多い方がよい。	住民/境港市/女性/60歳代
			自然災害が多発していることを考えると、対応できる代替路の整備が望ましい。	住民/米子市/男性/80歳代
			気候変動により、自然災害が甚大化しており、避難には複数の速やかなルートが選択出来る必要がある。	企業/境港市/複合サービス
	③高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること	1,653件	現時点の状況は、ICからのアクセス性は良くなく、観光地への移動時間を短縮すべき。	道路利用者/米子市/男性/20歳代
			観光資源があるにもかかわらず、インフラが整っていないせいで有効に活用出来ていないため。	住民/米子市/男性/30歳代
			アクセス向上は、圏域同士の経済や交流を盛んにすることにつながる。経済的にも自立した持続可能な圏域を目指す上で必須である。	住民/境港市/男性/40歳代
	④救急医療機関へ早く、確実に、安全に搬送できること	1,461件	渋滞時に一刻を争う緊急搬送の高速化や定時化は重要である。また、大規模災害時に緊急車両専用道路とすることも可能である。	住民/米子市/男性/30歳代
			アクセスが良くなる事で助かる命があるかもしれない。	企業/県外/運輸,郵便業
			朝夕のラッシュ時は救急車も普通に渋滞に入り、止まっている状態を見ます。（休日時も同じ）	住民/日吉津村/女性/60歳代
	⑤交通事故が起きにくいこと	1,343件	安全性が高ければ、周辺地域の住民の安全も守られる。事故が少ないことで渋滞も緩和されて、移動時間も短縮され経済的なメリットもある。	住民/米子市/女性/50歳代
			交通の分散。生活道路への通過交通が減少。幹線道路に集約。	企業/県外/製造業
			431号線はサイクリングブームによって車道を走るロードバイクを頻繁に見かけるようになった。高齢者のヒヤッとする横断も目立つ。県外車の荒い運転もよく見かける。自動車専用道路は交通安全上有効なのではないか。	住民/米子市/男性/50歳代

3.意見聴取の結果（自由意見）
3-1.ルート帯検討時に重視すべき項目（アンケートによる自由意見）

○配慮すべき事項では「⑨**自然環境や景観への影響が小さいこと**」に関する意見が最も多く、弓ヶ浜半島やケヤキ並木への配慮等の意見が多く寄せられた。

■⑥～⑪に関する自由意見

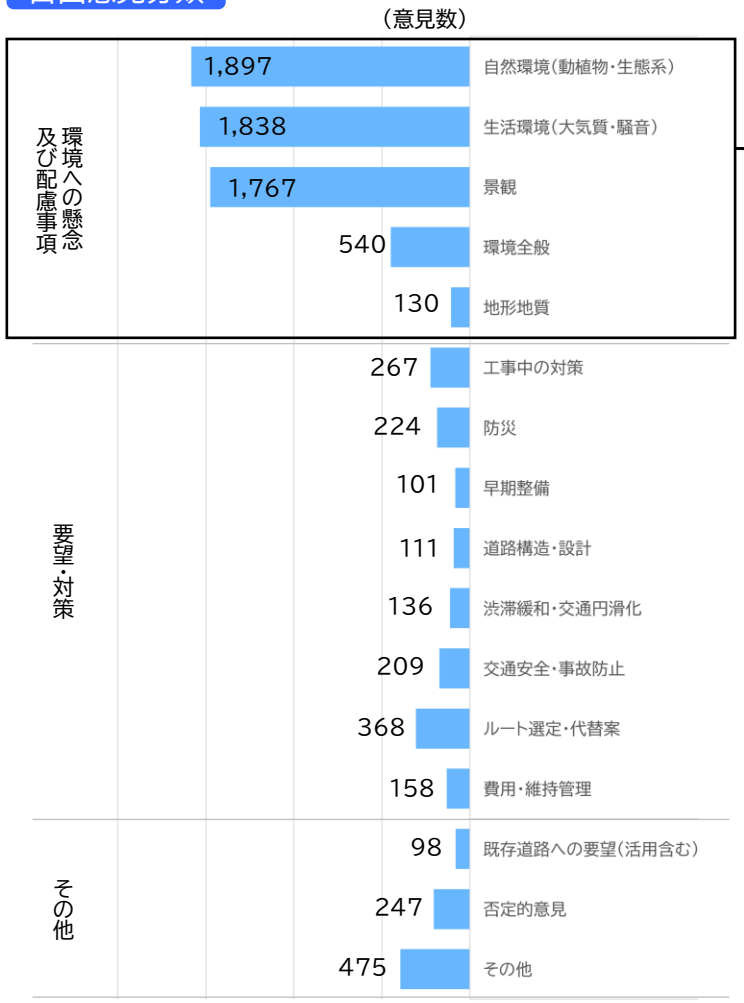
分類	項目	意見数	主な意見	回答者属性
配慮すべき事項	⑥道路沿線の大気質や騒音の影響が小さいこと	505件	夜間の騒音は大丈夫でしょうか？静かな環境なので影響がないか心配である。	住民/米子市/女性/60歳代
			周辺の住民の方の健康被害が出ないように配慮していただきたいです。また近隣に学校があるのであれば勉強や体育や部活動などで屋外の活動をされると思いますので、騒音や大気質への配慮を必ず行っていただきたいです。	住民/米子市/男性/30歳代
	⑦家屋等の移転や集落への影響等、生活環境への影響が小さいこと	971件	現行の生活が脅かされる事が最も少ない案を選択する事。道路をつくるために、そのことを無視してまで進めるとの考えには立たない。	企業/米子市/不動産業等
			移転が必要となる家屋、特に人口集中地区以外の家屋を移転した場合、各々の世帯の高齢化もあり、人口流出を伴う事もある。	道路利用者/米子市/男性/50歳代
	⑧工事中の交通規制の影響が小さいこと	627件	完成までには長期間が必要であろうが、その間交通規制による混雑が発生すると本末転倒。	企業/米子市/学術,専門・技術業
			工事が長時間に及ぶことが考えられる為、長期に及ぶ交通渋滞の発生など市民生活に及ぼす影響は大きい。	道路利用者/米子市/男性/50歳代
	⑨自然環境や景観への影響が小さいこと	1,270件	構造物を作る事によって、地域の景観を破壊しない。又、弓ヶ浜半島の淡水レンズを破らないこと。	道路利用者/境港市/男性/70歳代
			大山を望む弓浜半島の白砂青松、ケヤキ並木通りの町並み、田園風景を守る事。	道路利用者/日吉津村/男性/70歳代
			水鳥公園はラムサール条約に登録されており、影響が出ることを懸念する。	住民/米子市/男性/30歳代
	⑩建設や維持管理に要する費用が安いこと	1,125件	今後の人口減少社会を考えて、次世代に負担をかけないコストにする必要がある。	住民/境港市/女性/40歳代
			人口が今後減少していく中で、新たに発生する建設費・維持費が地域にとってプラスの効果以上に足かせとならないかという懸念がある。	企業/境港市/運輸,郵便業
⑪その他（上記以外で重視すべき項目）	早期整備への要望	31件	完成までの期間が短い事。地域が衰退してからでは、回復させる事は不可能と考えます。	住民/境港市/男性/60歳代
	ルート選定への意見	58件	県境の渋滞緩和を含めたより有意義な構想／8の字ルート構想や米子湾の中海架橋構想も含める。	住民/米子市/男性/50歳代
	否定的意見	226件	必要を感じない。早くなって15分程度なのではないですか。ここにお金を使うなら道路の陥没等の設備に投資すべきでは。	道路利用者/日吉津村/女性/30歳代
	その他	333件	輸送路に関して道路のみならず、パーキングやドライバーが休憩できる施設がいると思う。	住民/境港市/男性/40歳代

3.意見聴取の結果（自由意見）
3-2.環境に関する懸念事項や配慮した方が良い事項①（アンケートによる自由意見）

○「道路整備における環境に関する懸念事項や配慮した方が良い事項」に関して、**自然環境（動植物・生態系）、生活環境（大気質・騒音）、景観**を指摘する声が多い。特に水鳥公園への配慮等の自然環境に関する意見が多く寄せられた。

質問2　道路整備における環境に関する懸念事項や配慮した方が良いと思うことなどがありましたら、ご自由にお書きください。
（大気質・騒音・自然環境・景観など）　【自由意見回答数：5,990件】

自由意見分類



分類（意見数）	主な意見	回答者属性
自然環境（動植物・生態系）（1,897件）	米子～境港間の内浜産業道路（旗ヶ崎～米子空港間）に米子水鳥公園がある。もしそのルートに道路を造るなら工事による大気質、騒音で今まで来ていた鳥が来なくなるかもしれない。自然環境の点も考えていく必要があると思う。	住民/米子市/男性/30歳代
	自然環境・景観は一度破壊されると、その復元は不可能である。白砂青松の弓ヶ浜半島の自然環境・景観は守るべきものである。	住民/米子市/男性/70歳代
	日本海、中海など今のままの自然環境が保たれれば良いと思う。	住民/米子市/女性/70歳代
生活環境（大気質・騒音）（1,838件）	大気質や騒音等の影響で市民の健康等がおびやかされないよう配慮して欲しい。	住民/米子市/女性/60歳代
	学校、福祉施設への騒音対策はお願いしたいです。	住民/米子市/女性/40歳代
	弓ヶ浜のサイクリングロード、ウォーキングコースを良く利用しています。景観や綺麗な空気を大事に思って欲しいです。	住民/米子市/男性/30歳代
景観（1,767件）	風景の良い弓ヶ浜の海岸線を美しく残して欲しい。	住民/米子市/男性/50歳代
	けやき並木とそこから望む大山は米子市を象徴する景観であり、米子市が誇るべき自然であると考える。	住民/米子市/女性/20歳代
	白砂青松と呼ばれる弓ヶ浜の景観、大山を望む各地の景観を損なわず、むしろこれらをより味わえるような道路整備を目指してほしい。	住民/米子市/男性/40歳代
環境全般（540件）	生活環境への配慮。	住民/境港市/男性/70歳代
	環境アセスメント十分に行い、前・中・後の検証を実施しつつ、報告まで行うことが必要と思います。	住民/米子市/男性/60歳代
地形・地質（130件）	地下に多くの水脈が流れていて、美味しい水に恵まれた地域なので、地下水脈に影響が出ないように十分に調査をしていただければと思います。	住民/米子市/男性/50歳代
	皆生温泉地区への配慮。	住民/米子市/男性/20歳代

※複数回答があるため、全項目の合計は5,990件にならない。

3.意見聴取の結果（自由意見）
3-2.環境に関する懸念事項や配慮した方が良い事項②（アンケートによる自由意見）

	分類（件数）	主な意見	回答者属性
要望・対策	工事中の対策（269件）	完成までの間、道路規制が長年続くようであれば、運輸、観光などの面で停滞または損失を招くとともに、周辺住民の理解も得られなくなる。既存の道路の規制は最小限に止めたほうがよい。	住民/境港市/男性/50歳代
		作業時間は交通ラッシュ時を避けて欲しい。	企業/県外/運輸・郵便業
	防災（224件）	原発事故時の避難。	住民/米子市/男性/70歳代
		洪水や津波、地震等による自然現象に耐えられるものを。	住民/米子市/男性/60歳代
	早期整備（101件）	工期が長期化して生活に影響が出る事。やるならやるで短期集中でやってほしい。	住民/米子市/男性/50歳代
		米子ICから境港への高速移動整備は急務だと思う。R431がキャパシティーを越えており地域住民の生活に影響出ている。	住民/米子市/男性/40歳代
	道路構造・設計（111件）	中途半端な物でなく、しっかりした道路を求めます（片側2車線）。	住民/境港市/男性/50歳代
		景観が悪くなるという意見も出ると思うが、かっこいい橋とか道を造る工夫も必要だと思う。	企業/米子市/運輸・郵便業
	渋滞緩和・交通円滑化（136件）	信号が少ない方がいいと思います。早く行けるから。	住民/境港市/女性/60歳代
		431号沿は生活圏であり、商用・観光目的車を別ルートへ通し、生活道路を確保する。	住民/米子市/男性/70歳代
	交通安全・事故防止（209件）	広い年代に安全に利用出来る事。	住民/境港市/男性/60歳代
		自動車、自転車、歩行者、バスが独立して共生できる区分けとスペースの確保。	住民/米子市/男性/40歳代
	ルート選定・代替案（368件）	東側ルートが動線としてはスムーズかと、米子市河崎辺りまでは高架道路、弓ヶ浜では、美保湾の景観を損なわないよう高さを低くしてほしい。	住民/米子市/男性/70歳代
		案②中央ルート案で工業団地、工場、商業施設へのアクセス性が高まり、弓ヶ浜などを通らない案②は自然環境に配慮している。	住民/米子市/男性/60歳代
		耕作出来ない農地が多い西側ルートが地域全体の発展になると思う。環境、景観も期待できる。	住民/米子市/男性/70歳代
	費用・維持管理（158件）	将来、大規模修繕工事を行う際に、コストがかからない手法が可能となる道路を整備してほしい。	住民/境港市/男性/60歳代
		樹木の植栽による見通しの悪さや落葉によるスリップ事故危険性や清掃コストの削減を考慮。	住民/日吉津村/女性/50歳代
その他	既存道路への要望（活用含む）（98件）	道が悪すぎる。走ってても跳ねる所が多いため、車が壊れそうになる。早く直して欲しい。特に山陰道。	住民/米子市/女性/50歳代
		ケヤキ通りのケヤキの撤去（交通標識等見づらい）。大木により危険である。撤去し自動車道を設置。	住民/日吉津村/男性/70歳代
	否定的意見（247件）	ほんの20分～30分のために何千億円もの税金を使って自然環境や景観を破壊する事業は必要ない。	住民/米子市/男性/60歳代
		人口減少社会の中、旧インフラ整備に資源を集中し新規路線の開拓はすべきではない。	住民/境港市/男性/80歳代
	その他（475件）	大型車両の待機、休憩エリア、施設を整備希望	企業/米子市/製造業
		近い未来だけでなく、長い目で見た時の影響など、調査結果を市民に共有していただけると嬉しいです。	住民/米子市/女性/40歳代

※回答者が複数の内容の意見を述べることがあるため、意見数の総数は回答者数と一致しない

3.意見聴取の結果（自由意見）
3-3.インターチェンジの設置を検討する際に配慮すべき項目（アンケートによる自由意見）

○「インターチェンジの設置を検討する際に配慮すべき項目」に関して、「**③観光施設・観光地などの観光拠点にアクセスしやすいこと**」、「**①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと**」に関する意見が多く、空港や港湾へのアクセスといった意見も寄せられた。

■①～⑥に関する自由意見

【自由意見回答数：2,283件】

項目（意見数）	主な意見	回答者属性
①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと（95件）	境港へのアクセスのことだけではなく、米子の企業誘致のための利便性も考慮した方がよいと思う。	住民/米子市/女性/60歳代
	ネギ農家が多くネギの産地でもある事から、農産物の輸送拠点について配慮が必要と考えます。	住民/米子市/男性/50歳代
	空港（米子）や港湾（境港）という交通結節点との連携。アクセスのスムーズ化。	住民/米子市/男性/50歳代
②市役所・役場や防災拠点からアクセスしやすいこと（47件）	災害発生時にでも利用できる様な立地条件、可能であれば自衛隊基地側からの流入可能な状態にして、災害対策・応援を潤滑に行なっていただきたい。	住民/米子市/男性/40歳代
	高規格道路付近に駐屯地があることでより災害時の対応がスムーズになると思われる。	住民/米子市/男性/20歳代
③観光施設・観光地などの観光拠点にアクセスしやすいこと（146件）	皆生～水木しげるロードへの動線がさらにアクセスしやすくなると観光客さん達もうれしいと思いますし、住民も渋滞が減ってうれしいと思いますのでよろしくお願い致します。	住民/米子市/女性/40歳代
	米子市～境港市間を直結させる。（豪華客船クルーズのアクセス）	住民/米子市/男性/60歳代
	空港へのアクセスが更に良くなれば、より利便性が上がると思います。	住民/米子市/男性/40歳代
④救急医療機関にアクセスしやすいこと（41件）	緊急時の避難経路や医療機関へのアクセスは便利になれば良いと思います。	住民/米子市/男性/50歳代
	年配者が増加している現状なので救急時の利便性が良くなればいいと思う。	住民/米子市/女性/30歳代
⑤市街地や居住地からアクセスしやすいこと（65件）	商業施設へのアクセスも必要では。	住民/米子市/男性/60歳代
	鉄道との連携についても検討していただきたい。	住民/米子市/男性/40歳代
⑥その他	入口出口を拠点となる所になるべく多く設置して欲しい。	企業/米子市/建設業
	インターチェンジの数をできるだけ減らして、境港市と米子ICを移動時間をできるだけ短縮するべきと考える。	住民/米子市/男性/60歳代
	学校の近くは、朝夕の渋滞時に交通事故のリスクが高まる。	企業/県外/運輸・郵便業
	既存道路周辺に存在する商業店舗への配慮、高速道路により客足が激減するのでは。	住民/米子市/男性/60歳代
	市街地や市役所の近くにインターチェンジが出来ると渋滞になるから、いらないと思う。	住民/米子市/女性/40歳代

※回答者が複数の内容の意見を述べることがあるため、意見数の総数は自由意見回答数と一致しない

3.意見聴取の結果（自由意見）
3-4.懸念事項・配慮した方が良い事項（アンケートによる自由意見）

○「道路整備による懸念事項や配慮した方が良い事項」に関して、整備にあたっての対策・要望、期待・効果、既存道路への要望など**整備に関する意見**が多く寄せられた。

質問4　その他、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良いと思うことがありましたら、ご自由にお書きください。【自由意見回答数：4,700件】

項目（意見数）		主な意見	回答者属性
懸念事項及び配慮した方がよい事項	沿線環境（221件）	静かな住宅地に住んでいるので、大気質や騒音がひどいのは困ります。	住民/米子市/女性/70歳代
	生活環境（349件）	移転物件や地域の分断・集落の影響が少ないほど実現の可能性が高くなるような気がします。	住民/米子市/男性/60歳代
	工事中の交通規制（326件）	弊社は夜間にも稼働している為、工事期間中の迂回路等も考えて頂きたい。	企業/米子市/運輸,郵便業
	自然環境（398件）	可能な限り、弓ヶ浜半島の美しい白砂青松の景観を壊さないような、構造にされたい。	住民/境港市/男性/60歳代
	費用（466件）	これから人口減少になる為、税収減、利用減少になるかもしれない事も踏まえて計画してほしいと願います。	住民/米子市/男性/50歳代
	地域経済への影響（63件）	自動車道による通過交通となり、町が衰退しないように考えて頂きたい。	住民/米子市/男性/40歳代
	渋滞・事故（186件）	インターチェンジ交差点で信号待ちで渋滞とか結局効果が薄れることの無いよう、渋滞緩和策を考えてほしい。	住民/境港市/男性/60歳代
	その他懸念（53件）	境港市部分はすべて国道431号の空間利用となる案であるが、航空機の発着に支障はないのか。	住民/境港市/男性/70歳代
整備に関する事項	ルート選定・代替案（569件）	国道431号が渋滞するので、高速道の利用で渋滞なしで目的地に行けると良いので、東側ルートに作って欲しい。	住民/米子市/女性/50歳代
		建設コストを重視ではなく町全体の事を考えた時に「案2」中央ルートにした方が、町全体又島根西部、島根東部の活性化に繋がると考える。	住民/米子市/男性/50歳代
		車の流れが東側に片寄るより西側にも通した方が良いと思う。米子西IC出口の混雑も少なくなるのでは。又は弓浜部の遊休農地がたくさんあるのでそこを通してもよいのでは。	住民/米子市/女性/50歳代
	インターチェンジ・アクセス（178件）	インターチェンジの設置箇所については当初の目的がぶれないよう選定すべき。また、地域住民への利便性も忘れないようお願いしたい。	住民/境港市/男性/30歳代
	整備にあたっての対策・要望（1,729件）	鳥取、島根は高齢運転者が多いため、逆走事故が起こることが予想されます。逆走が起きないような対策が必要かと思います。	住民/米子市/女性/30歳代
	期待・効果（389件）	観光客車両や大型トラックが一般道路を使用することによる渋滞が、市民の生活に影響を与えている。市民生活の質の向上のためにも、早期に高規格道路を整備することが必要だと考える。	住民/米子市/男性/50歳代
その他	既存道路への要望（392件）	最近道路の路面の状態が非常に悪いと思う。傷みが激しくデコボコ。轍も多い所が散見される。	企業/県外/製造業
	否定的意見（488件）	人口減少が言われる中、将来的に保守管理が必要である大規模な道路整備を行うことに疑問を感じる。既存の道路の整備、改良、交通量の分散を図るなどで対応できることもあるのではないかと考える。	住民/米子市/男性/30歳代
	その他（390件）	お年寄りが移動し易い公共交通の整備を願います。	住民/米子市/男性/60歳代

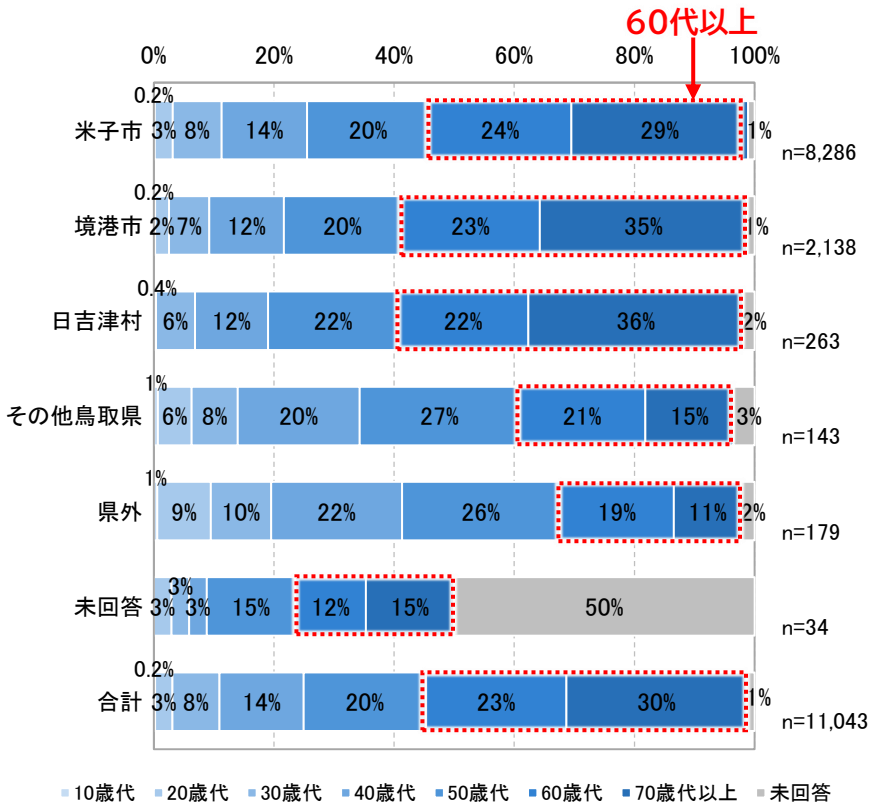
※回答者が複数の内容の意見を述べることがあるため、意見数の総数は自由意見回答数と一致しない

４．意見聴取の結果
（クロス集計）

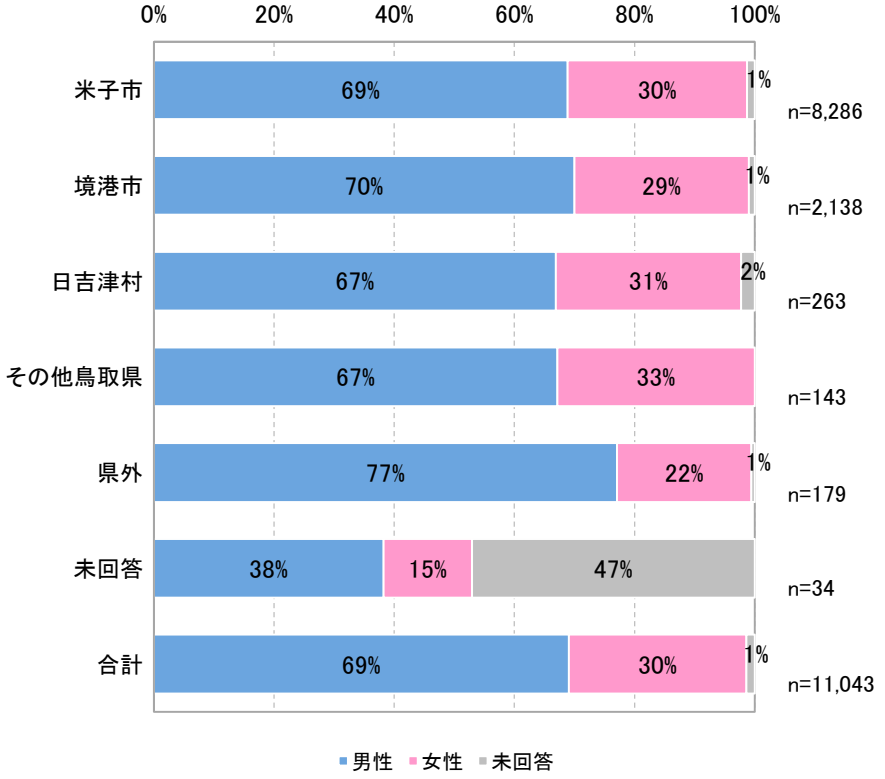
4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-1.属性分析①（住民、道路利用者）

○ 居住地別年代は、沿線地域である米子市、境港市、日吉津村は全体と同様の年齢構成である。その他鳥取県や県外は60代未満の回答割合が高い。
○ 居住地別性別は、米子市、境港市、日吉津村は男性が7割、女性が3割であるが、県外は男性の割合が8割と高い。

居住地×年代



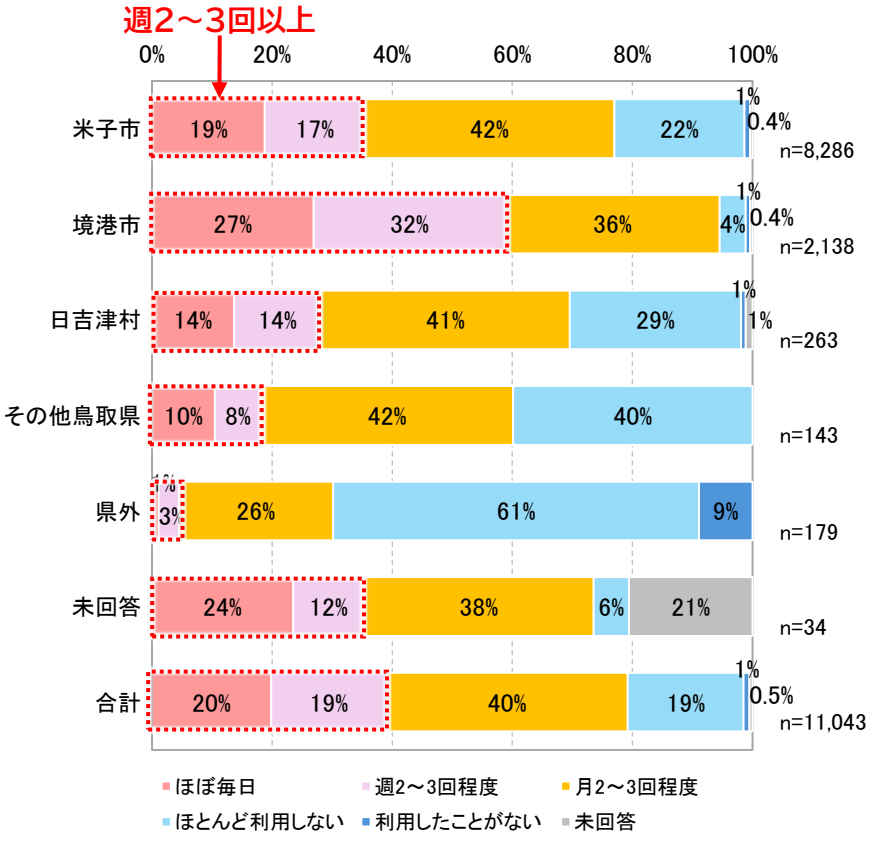
居住地×性別



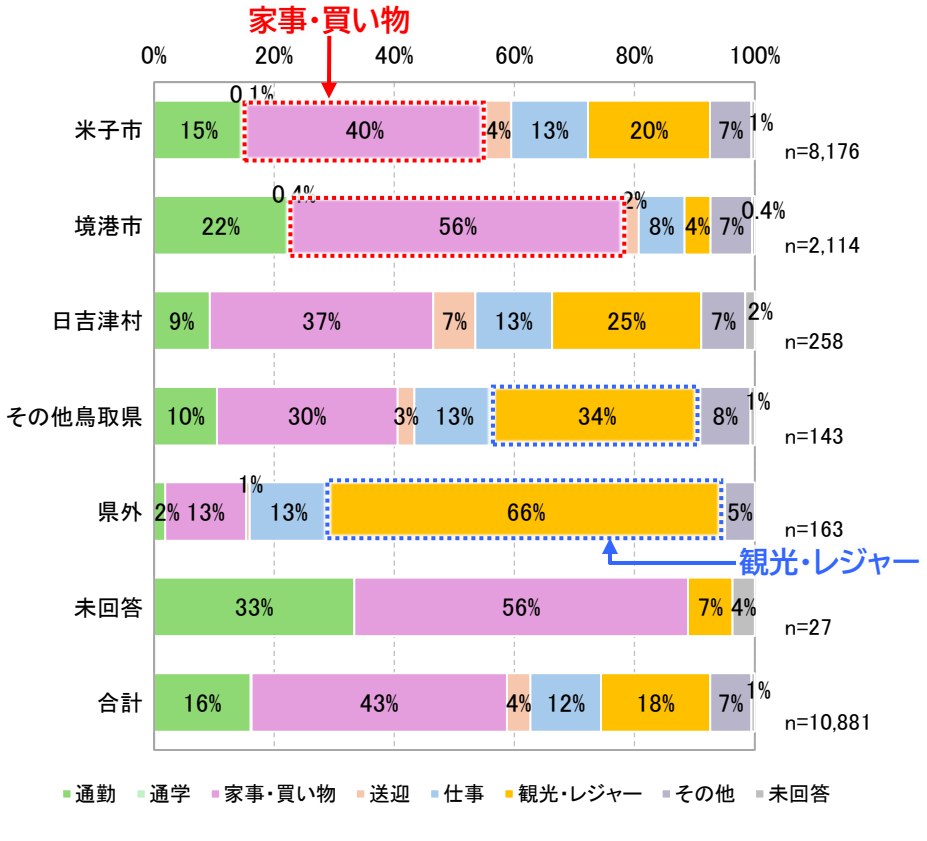
4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-1.属性分析①（住民、道路利用者）

○ 居住地別の利用頻度は、境港市が高く、「ほぼ毎日」が約3割、「週2～3回程度」が約3割。
○ 居住地別の利用目的は、米子市、境港市では「家事・買い物」が最も多く、次いで「通勤」となっている。その他鳥取県、県外では「観光・レジャー」が最も多い。

居住地×利用頻度



居住地×利用目的

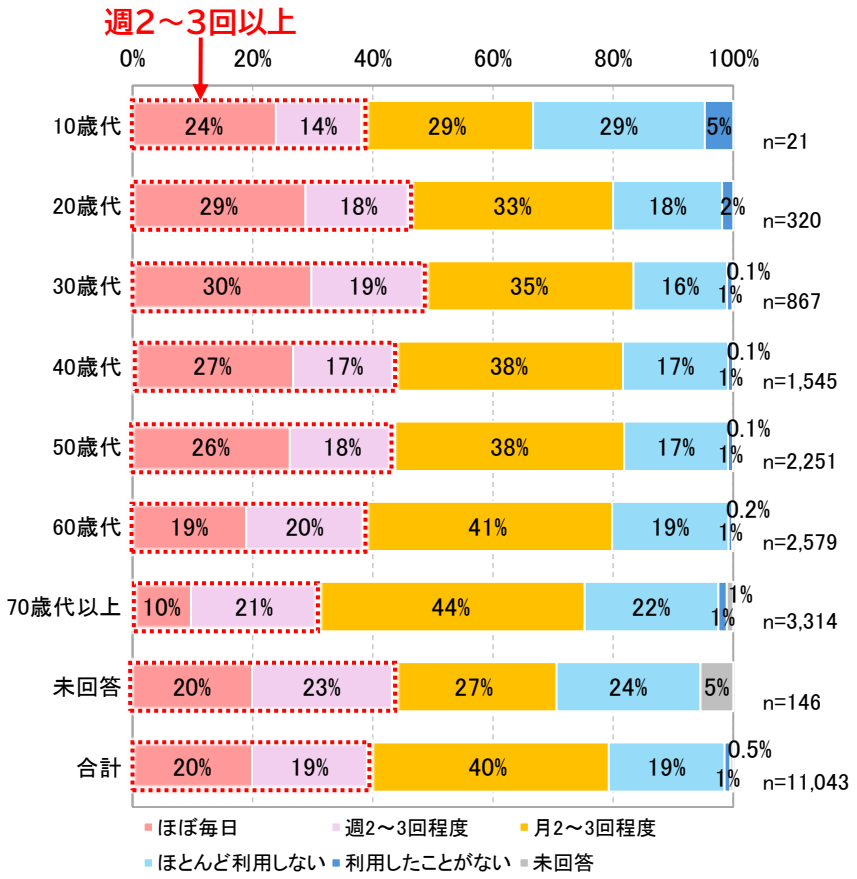


※利用頻度で「⑤利用したことがない」を選ばれた方および未回答は除く。

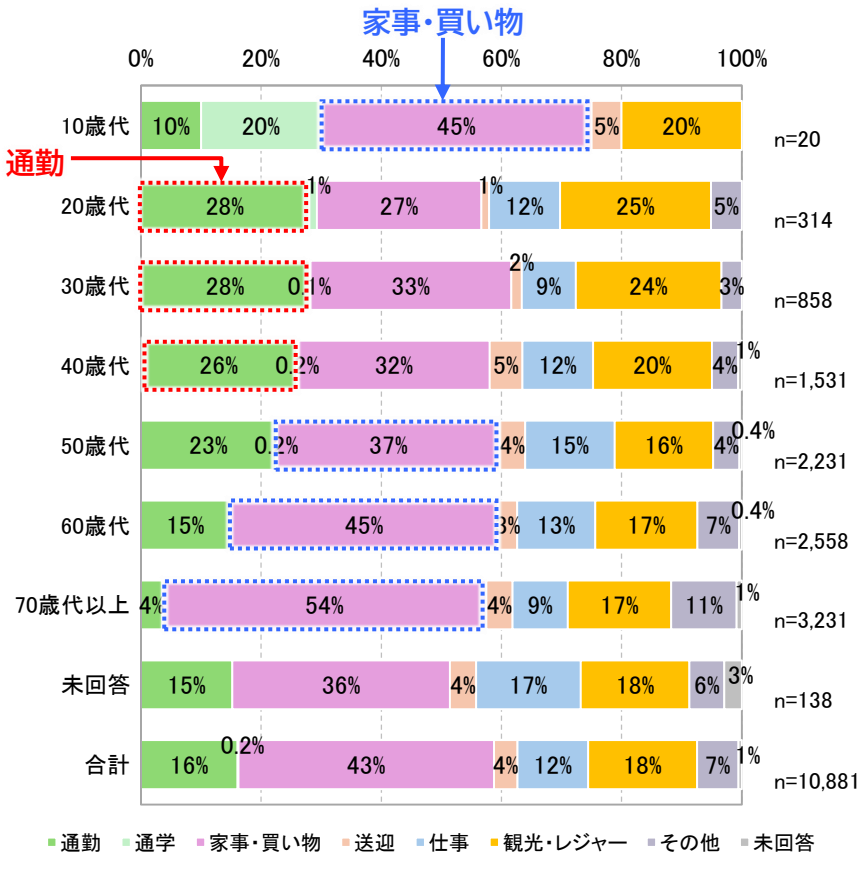
4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-1.属性分析①（住民、道路利用者）

○ 20代～30代の利用頻度が高く、60代以上は利用頻度が低い。
○ 年代別利用目的を見ると、20代～40代は「通勤」、10代及び50代以上は「家事・買い物」の割合が高い。

年代×利用頻度



年代×利用目的

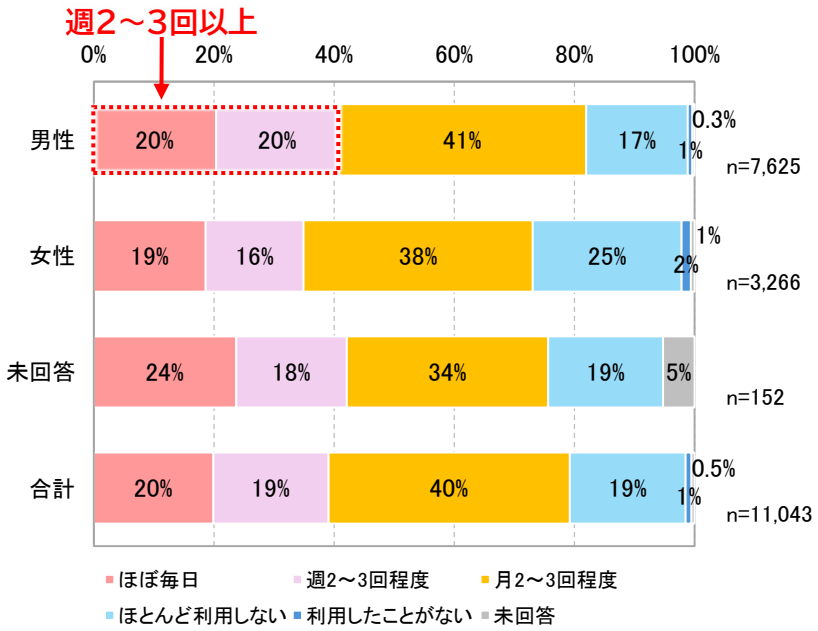


※利用頻度で「⑤利用したことがない」を選ばれた方および未回答は除く。

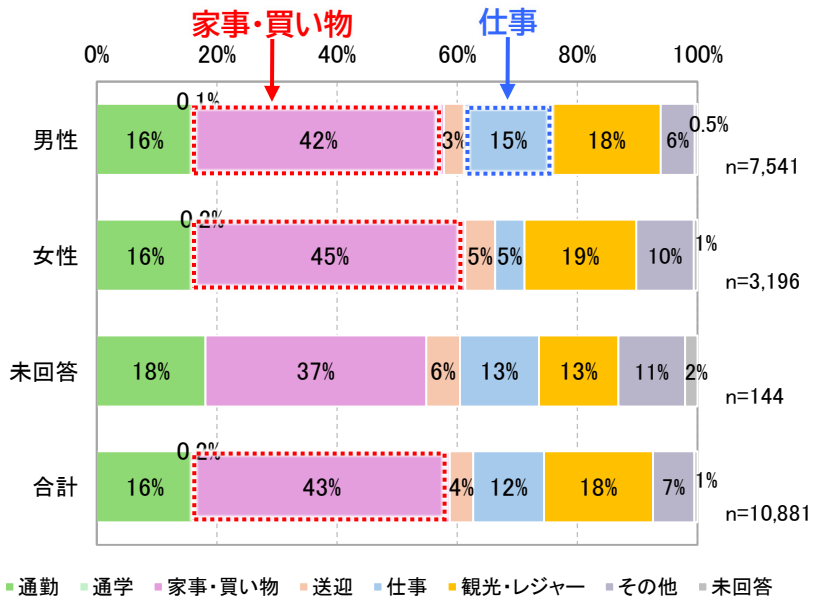
4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-1.属性分析①（住民、道路利用者）

○ 男性の方が利用頻度が高い。
○ 男女別の利用目的を見ると、全体では「家事・買い物」が最も多く、次いで「観光・レジャー」、「通勤」となっており、男女ともに同様の傾向であるが、「仕事」の割合は男性の方が高い。

性別×利用頻度



性別×利用目的

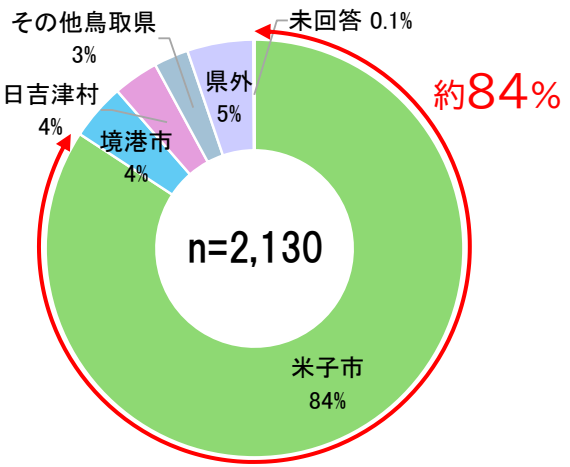


※利用頻度で「⑤利用したことがない」を選ばれた方および未回答は除く。

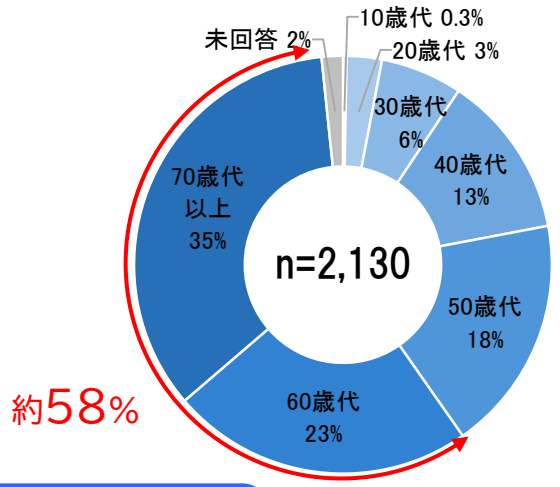
4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-1.属性分析①（住民、道路利用者）

○ 「ほとんど利用しない」と回答した住民・道路利用者は、居住地別では、「米子市」で約8割を占めている。
○ 年代別では60代以上が約6割を占めている。
○ 男女別で見ると、男性の割合が高い。

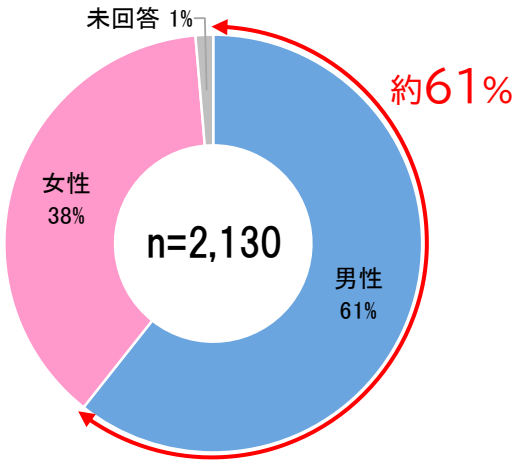
居住地×利用頻度（ほとんど利用しない）



年代×利用頻度（ほとんど利用しない）



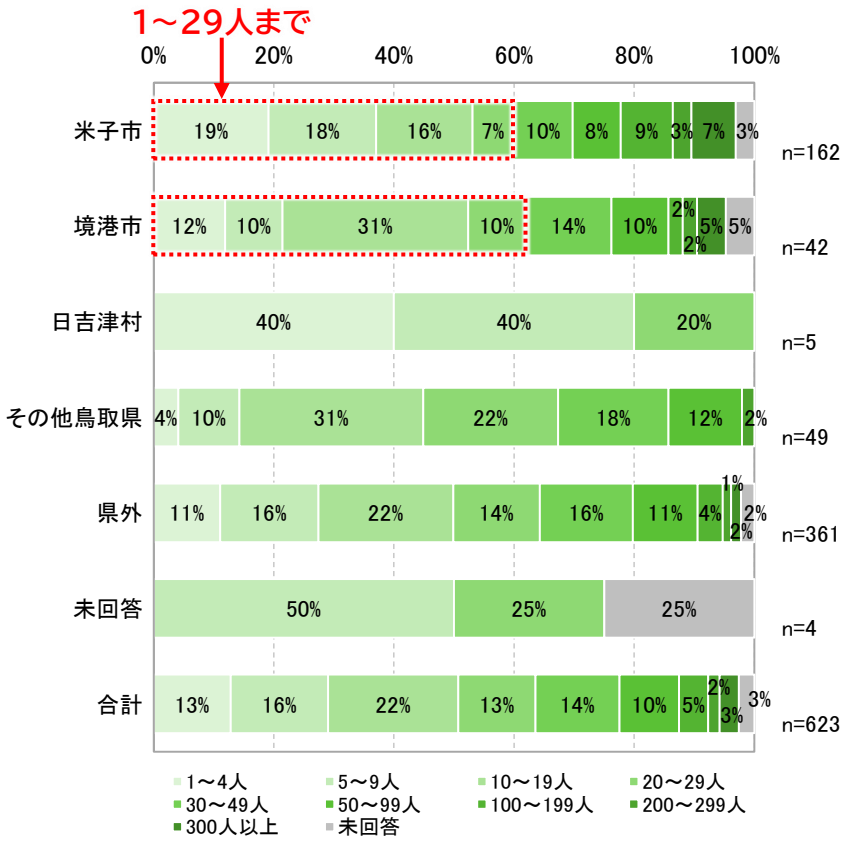
性別×利用頻度（ほとんど利用しない）



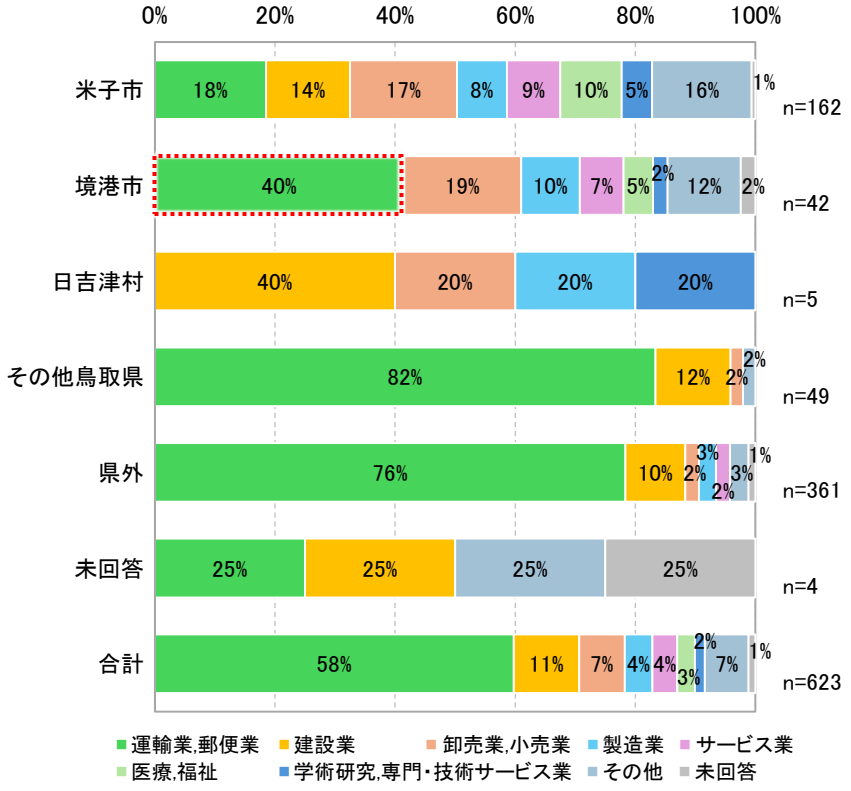
4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-1.属性分析②（事業所）

○ 事業所の規模は、境港市では「10～19人」の事業者の割合が最も多い。「1～29人まで」の合計は、米子市、境港市は約6割で、日吉津村は10人未満の事業所が約8割となっている。
○ 業種は、全体及び境港市では「運輸業,郵便業」が最も多く、次いで「建設業」、「卸売業,小売業」となっている。

所在地×従業員数



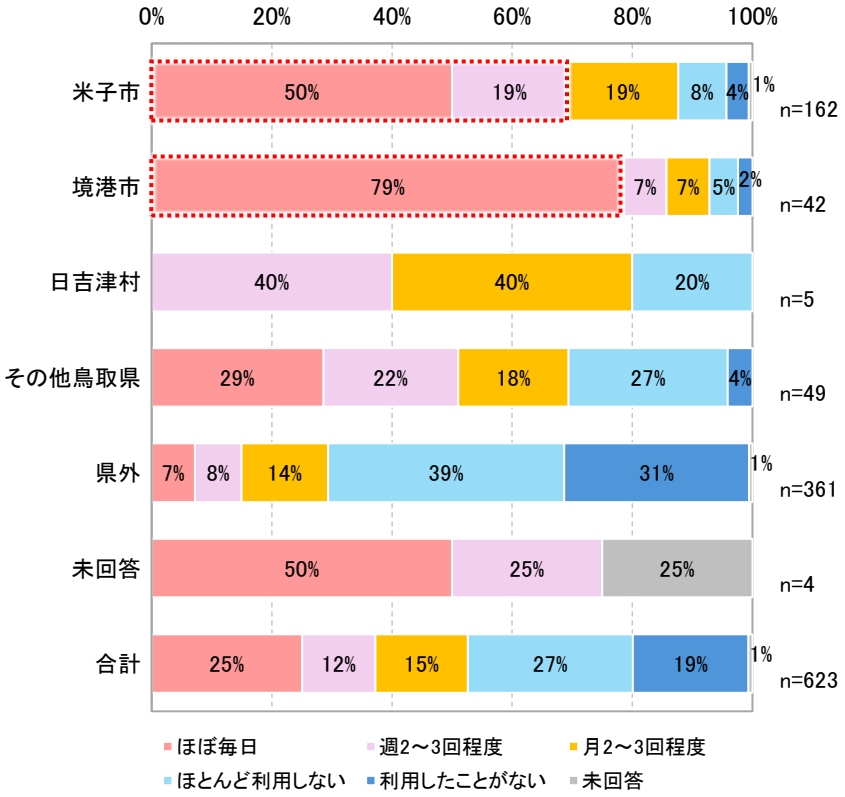
所在地×業種



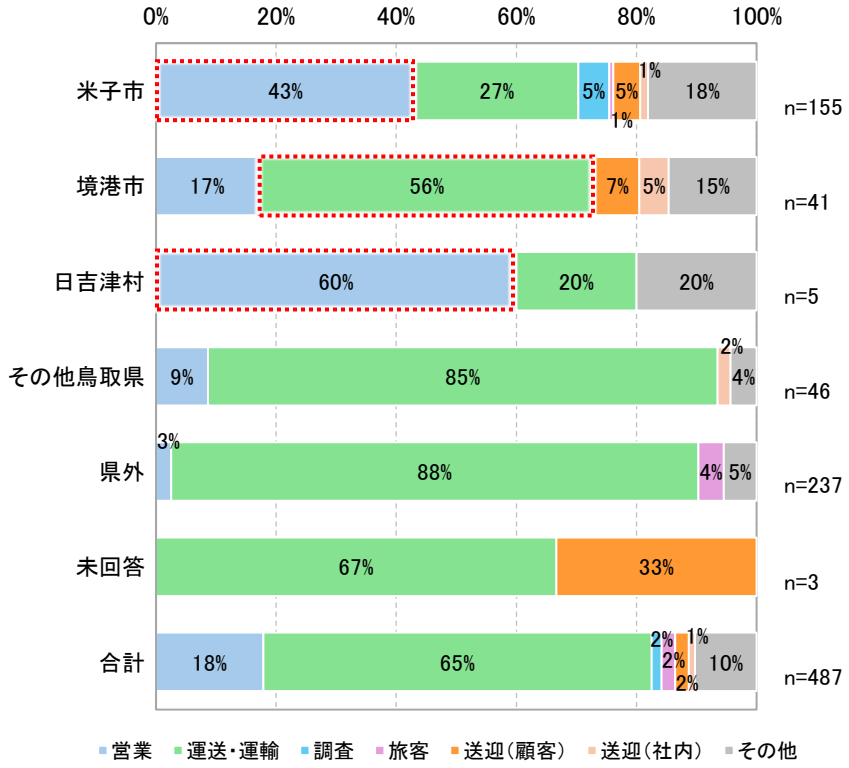
4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-1.属性分析②（事業所）

○ 所在地別の利用頻度は、境港市では「ほぼ毎日」が約8割と最も多い。米子市では、「週2～3回以上」が約7割を占めている。
○ 所在地別の利用目的は、境港市は「運送・運輸」が約6割と多く、米子市と日吉津村では「営業」が多い。

所在地×利用頻度



所在地×利用目的

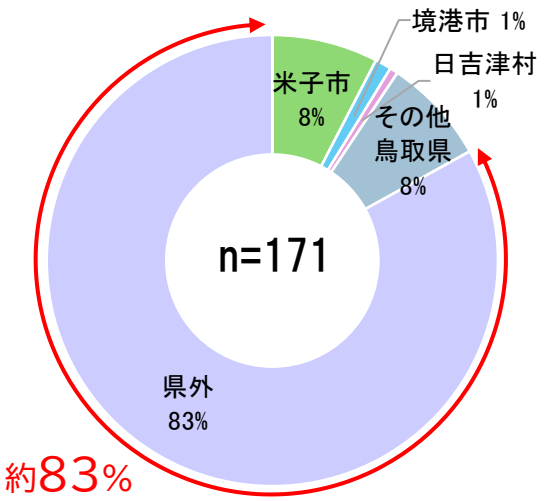


※利用頻度で「⑤利用したことがない」を選ばれた方および未回答は除く。

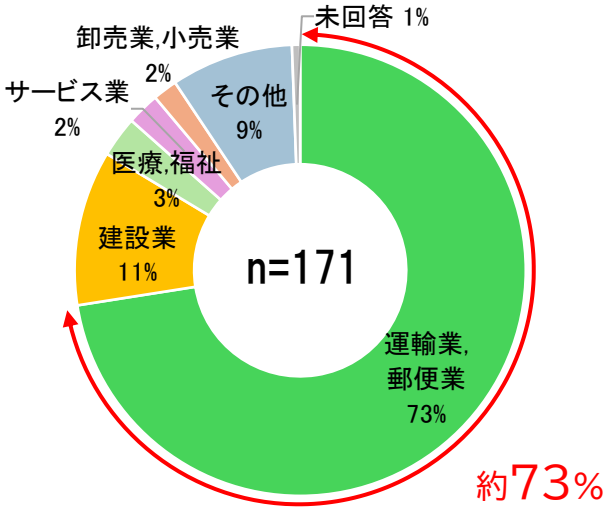
4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-1.属性分析②（事業所）

○ 「ほとんど利用しない」と回答した事業所を所在地別で見ると、「県外」が約8割となっている。
○ 業種別に見ると、「運輸業,郵便業」が約7割を占めている。

所在地×利用頻度（ほとんど利用しない）



業種×利用頻度（ほとんど利用しない）



4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-2.ルート帯検討時に重視すべき項目①（居住地別[住民・道路利用者]）

○ 沿線地域である米子市、境港市、日吉津村において、「①輸送時間の短縮や移動時間が読みやすく、産業活動を支援すること」、「②自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること」を重視する割合が高い。
○ 県外の回答者は、他地域と比較して、「③高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること」の回答割合が高くなっている。

重視すべき項目×居住地別[住民・道路利用者]

特に重視すべきと思われる項目	米子市 回答数：8,286	境港市 回答数：2,138	日吉津村 回答数：263	その他鳥取県 回答数：143	県外 回答数：179	未回答 回答数：34	合計 回答数：11,043
①輸送時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること	43%	47%	43%	42%	31%	35%	44%
②自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること	43%	50%	44%	38%	30%	35%	44%
③高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること	29%	30%	30%	34%	51%	21%	29%
④救急医療機関へ早く、確実に、安全に搬送できること	28%	33%	22%	28%	21%	29%	28%
⑤交通事故が起きにくいこと	26%	23%	24%	32%	27%	35%	25%
⑥道路沿線の大気質や騒音の影響が小さいこと	11%	7%	16%	6%	6%	12%	10%
⑦家屋等の移転や集落への影響等、生活環境への影響が小さいこと	20%	14%	21%	17%	8%	9%	18%
⑧工事中の交通規制の影響が小さいこと	11%	12%	12%	11%	11%	0%	11%
⑨自然環境や景観への影響が小さいこと	23%	17%	25%	17%	18%	15%	22%
⑩建設や維持管理に要する費用が安いこと	20%	16%	17%	17%	13%	12%	19%
⑪その他	6%	6%	8%	4%	3%	12%	6%

4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-2.ルート帯検討時に重視すべき項目②（年代別[住民・道路利用者]）

○ 30代以上では「①輸送時間の短縮や移動時間が読みやすく、産業活動を支援すること」、「②自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること」を重視する割合が高い。
○ 10代では「⑦家屋等の移転や集落への影響等、生活環境への影響が小さいこと」の回答割合が高くなっている。

重視すべき項目×年代別[住民・道路利用者]

特に重視すべきと思われる項目	10歳代 回答数：21	20歳代 回答数：320	30歳代 回答数：867	40歳代 回答数：1,545	50歳代 回答数：2,251	60歳代 回答数：2,579	70歳代以上 回答数：3,314	未回答 回答数：146	合計 回答数：11,043
①輸送時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること	38%	51%	51%	46%	45%	44%	38%	40%	44%
②自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること	52%	38%	40%	38%	44%	46%	47%	36%	44%
③高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること	52%	44%	36%	34%	31%	28%	23%	27%	29%
④救急医療機関へ早く、確実に、安全に搬送できること	38%	31%	32%	27%	27%	26%	31%	26%	28%
⑤交通事故が起きにくいこと	19%	31%	35%	30%	27%	23%	21%	23%	25%
⑥道路沿線の大気質や騒音の影響が小さいこと	19%	8%	9%	10%	9%	10%	11%	10%	10%
⑦家屋等の移転や集落への影響等、生活環境への影響が小さいこと	33%	18%	18%	18%	16%	18%	20%	15%	18%
⑧工事中の交通規制の影響が小さいこと	5%	14%	14%	12%	13%	12%	9%	10%	11%
⑨自然環境や景観への影響が小さいこと	5%	19%	20%	22%	22%	24%	22%	17%	22%
⑩建設や維持管理に要する費用が安いこと	5%	14%	16%	19%	19%	21%	19%	21%	19%
⑪その他	5%	4%	5%	8%	6%	6%	5%	9%	6%

4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-2.ルート帯検討時に重視すべき項目③（性別[住民・道路利用者]）

○ 男女ともに「①輸送時間の短縮や移動時間が読みやすく、産業活動を支援すること」、「②自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること」を重視する割合が高い。
○ 「⑨自然環境や景観への影響が小さいこと」は、女性の方が回答割合が高くなっている。

重視すべき項目×性別[住民・道路利用者]

特に重視すべきと思われる項目	男性 回答数：7,625	女性 回答数：3,266	未回答 回答数：152	合計 回答数：11,043
①輸送時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること	48%	33%	35%	46%
②自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること	42%	48%	43%	38%
③高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること	32%	23%	25%	34%
④救急医療機関へ早く、確実に、安全に搬送できること	26%	33%	32%	27%
⑤交通事故が起きにくいこと	23%	30%	26%	30%
⑥道路沿線の大気質や騒音の影響が小さいこと	10%	12%	9%	10%
⑦家屋等の移転や集落への影響等、生活環境への影響が小さいこと	18%	20%	15%	18%
⑧工事中の交通規制の影響が小さいこと	11%	11%	12%	12%
⑨自然環境や景観への影響が小さいこと	20%	28%	21%	22%
⑩建設や維持管理に要する費用が安いこと	20%	17%	23%	19%
⑪その他	7%	4%	7%	8%

4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-2.ルート帯検討時に重視すべき項目④（利用頻度別[住民・道路利用者]）

○ いずれの頻度でも「①輸送時間の短縮や移動時間が読みやすく、産業活動を支援すること」、「②自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること」を重視する割合が高い。

重視すべき項目×利用頻度[住民・道路利用者]

特に重視すべきと思われる項目	ほぼ毎日 回答数：2,194	週2～3回程度 回答数：2,118	月2～3回程度 回答数：4,438	ほとんど利用しない 回答数：2,131	利用したことがない 回答数：108	未回答 回答数：54	合計 回答数：11,043
①輸送時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること	49%	48%	44%	35%	27%	30%	44%
②自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること	46%	45%	45%	41%	35%	39%	44%
③高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること	29%	32%	30%	25%	19%	22%	29%
④救急医療機関へ早く、確実に、安全に搬送できること	29%	29%	29%	27%	31%	24%	28%
⑤交通事故が起きにくいこと	27%	23%	26%	24%	24%	17%	25%
⑥道路沿線の大気質や騒音の影響が小さいこと	10%	9%	11%	10%	14%	9%	10%
⑦家屋等の移転や集落への影響等、生活環境への影響が小さいこと	17%	17%	19%	19%	14%	22%	18%
⑧工事中の交通規制の影響が小さいこと	15%	13%	10%	9%	7%	0%	11%
⑨自然環境や景観への影響が小さいこと	19%	20%	23%	25%	20%	17%	22%
⑩建設や維持管理に要する費用が安いこと	16%	17%	20%	22%	19%	15%	19%
⑪その他	7%	7%	5%	6%	7%	17%	6%

4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-2.ルート帯検討時に重視すべき項目④（利用頻度別[事業所]）

○ いずれの頻度でも「①輸送時間の短縮や移動時間が読みやすく、産業活動を支援すること」が最も回答割合が高く、次いで「②自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること」を重視する割合が高い。

重視すべき項目×利用頻度[事業所]

特に重視すべきと思われる項目	ほぼ毎日 回答数：156	週2～3回程度 回答数：76	月2～3回程度 回答数：96	ほとんど利用しない 回答数：171	利用したことがない 回答数：120	未回答 回答数：4	合計 回答数：623
①輸送時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること	72%	70%	60%	56%	41%	75%	60%
②自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること	37%	49%	44%	34%	36%	50%	39%
③高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること	27%	26%	35%	33%	23%	25%	29%
④救急医療機関へ早く、確実に、安全に搬送できること	19%	18%	17%	18%	24%	0%	19%
⑤交通事故が起きにくいこと	32%	25%	27%	34%	33%	25%	31%
⑥道路沿線の大気質や騒音の影響が小さいこと	4%	4%	7%	6%	4%	0%	5%
⑦家屋等の移転や集落への影響等、生活環境への影響が小さいこと	12%	7%	11%	5%	9%	0%	9%
⑧工事中の交通規制の影響が小さいこと	21%	18%	11%	9%	8%	25%	13%
⑨自然環境や景観への影響が小さいこと	11%	11%	10%	8%	8%	25%	9%
⑩建設や維持管理に要する費用が安いこと	12%	13%	8%	11%	13%	0%	11%
⑪その他	4%	8%	3%	3%	1%	0%	3%

4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-2.ルート帯検討時に重視すべき項目⑤（利用目的別[住民・道路利用者]）

○ いずれの目的でも「①輸送時間の短縮や移動時間が読みやすく、産業活動を支援すること」、「②自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること」を重視する割合が高い。

重視すべき項目×利用目的[住民・道路利用者]

特に重視すべきと思われる項目	通勤 回答数：1,748	通学 回答数：17	家事・買い物 回答数：4,629	送迎 回答数：426	仕事 回答数：1,278	観光・レジャー 回答数：1,976	その他 回答数：747	未回答 回答数：60	合計 回答数：10,881
①輸送時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること	50%	71%	42%	41%	53%	41%	34%	33%	44%
②自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること	44%	47%	47%	47%	41%	40%	44%	35%	44%
③高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること	30%	47%	28%	26%	33%	33%	22%	20%	29%
④救急医療機関へ早く、確実に、安全に搬送できること	29%	35%	31%	27%	25%	24%	31%	23%	28%
⑤交通事故が起きにくいこと	27%	24%	26%	24%	22%	25%	25%	20%	25%
⑥道路沿線の大気質や騒音の影響が小さいこと	10%	12%	11%	11%	8%	10%	12%	15%	10%
⑦家屋等の移転や集落への影響等、生活環境への影響が小さいこと	18%	12%	19%	20%	15%	20%	17%	15%	18%
⑧工事中の交通規制の影響が小さいこと	15%	0%	11%	11%	12%	9%	10%	12%	12%
⑨自然環境や景観への影響が小さいこと	19%	24%	22%	22%	19%	27%	25%	17%	22%
⑩建設や維持管理に要する費用が安いこと	16%	6%	18%	21%	21%	22%	21%	15%	19%
⑪その他	6%	0%	5%	7%	8%	5%	9%	12%	6%

※利用頻度で「⑤利用したことがない」を選ばれた方および未回答は除く。

4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-2.ルート帯検討時に重視すべき項目⑤（利用目的別[事業所]）

○ 営業、運送・輸送、調査、旅客が利用目的の事業所は「①輸送時間の短縮や移動時間が読みやすく、産業活動を支援すること」を重視する割合が最も高い。
○ 旅客が利用目的の事業所は「③高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること」を重視する割合が他の利用目的よりも高い。

重視すべき項目×利用目的[事業所]

特に重視すべきと思われる項目	営業 回答数:87	運送・運輸 回答数:315	調査 回答数:8	旅客 回答数:11	送迎（顧客） 回答数:11	送迎（社内） 回答数:5	その他 回答数:50	未回答 回答数:12	合計 回答数:499
①輸送時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること	52%	72%	63%	64%	27%	60%	46%	58%	64%
②自然災害に伴う通行止め発生時にも機能する代替路が確保されること	41%	39%	63%	9%	36%	80%	36%	42%	39%
③高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること	47%	25%	38%	45%	45%	20%	32%	33%	31%
④救急医療機関へ早く、確実に、安全に搬送できること	17%	16%	25%	18%	55%	40%	20%	25%	18%
⑤交通事故が起きにくいこと	17%	36%	25%	27%	27%	40%	24%	17%	31%
⑥道路沿線の大気質や騒音の影響が小さいこと	3%	4%	13%	0%	0%	0%	16%	8%	5%
⑦家屋等の移転や集落への影響等、生活環境への影響が小さいこと	21%	5%	13%	0%	27%	0%	8%	8%	9%
⑧工事中の交通規制の影響が小さいこと	17%	16%	0%	0%	9%	20%	14%	0%	15%
⑨自然環境や景観への影響が小さいこと	16%	7%	25%	18%	18%	20%	12%	0%	10%
⑩建設や維持管理に要する費用が安いこと	15%	9%	13%	9%	9%	0%	18%	8%	11%
⑪その他	7%	3%	13%	9%	0%	0%	8%	0%	4%

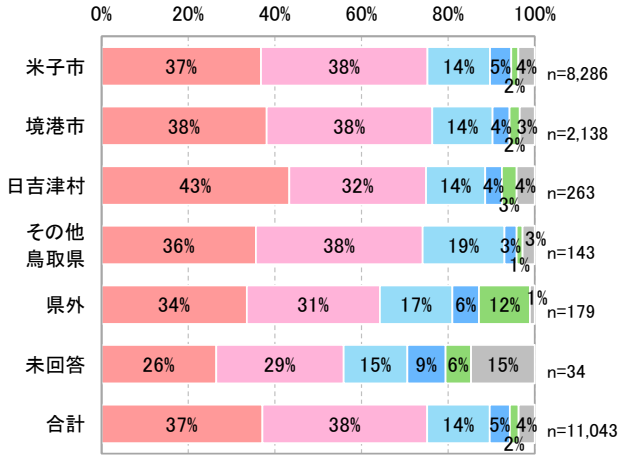
※利用頻度で「⑤利用したことがない」を選ばれた方および未回答は除く。

4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-3.インターチェンジの設置を検討する際の配慮すべき項目①（住所別[住民・道路利用者]）

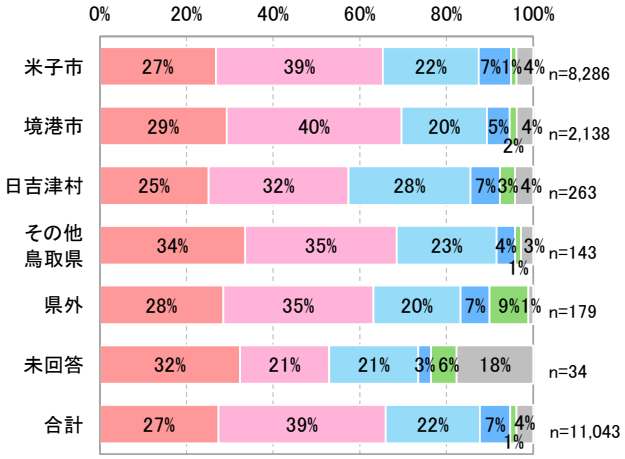
○ 県外は「③観光施設・観光地などの観光拠点にアクセスしやすいこと」について、「強く思う」、「少し思う」と回答した割合が他の地域と比べて高くなっている。

インターチェンジ設置検討配慮項目×住所別[住民・道路利用者]

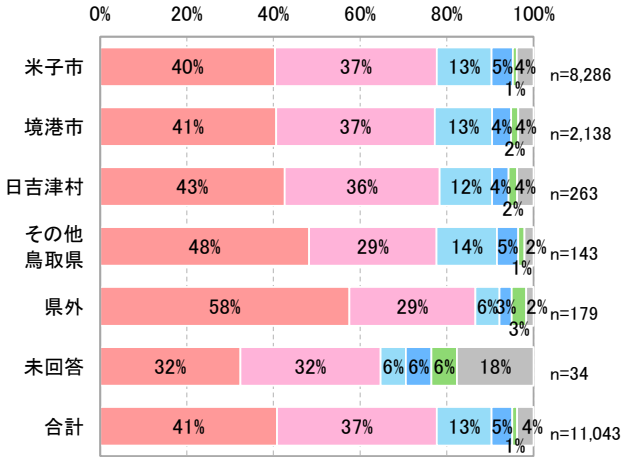
①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと



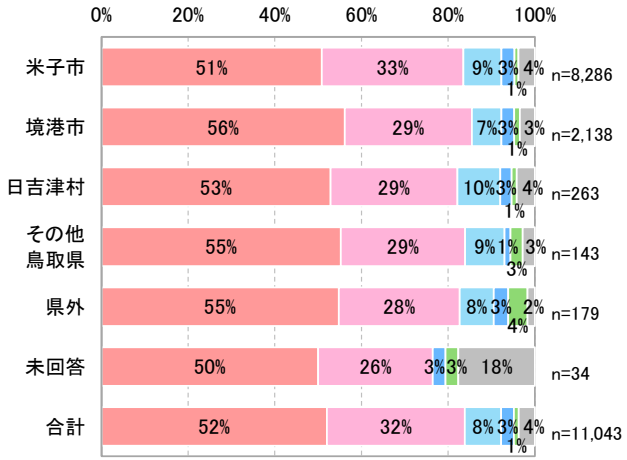
②市役所・役場や防災拠点からアクセスしやすいこと



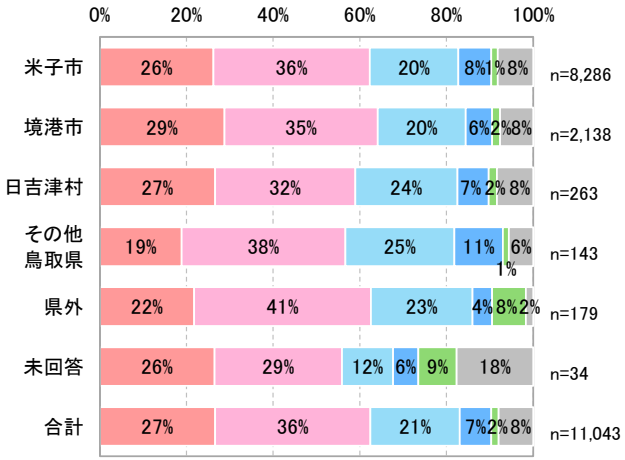
③観光施設・観光地などの観光拠点にアクセスしやすいこと

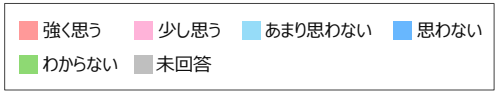


④救急医療機関にアクセスしやすいこと



⑤市街地や居住地からアクセスしやすいこと



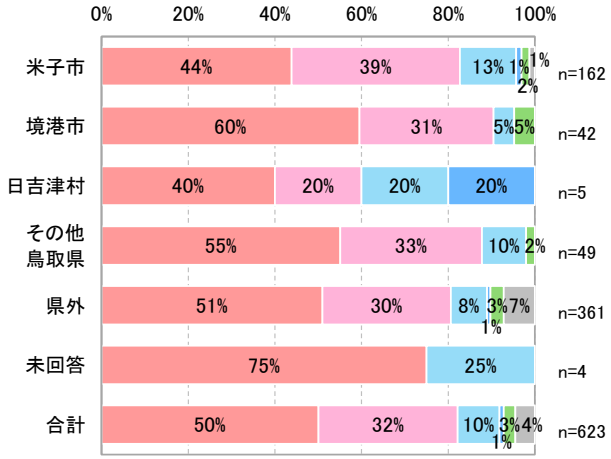


4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-3.インターチェンジの設置を検討する際の配慮すべき項目①（住所別[事業所]）

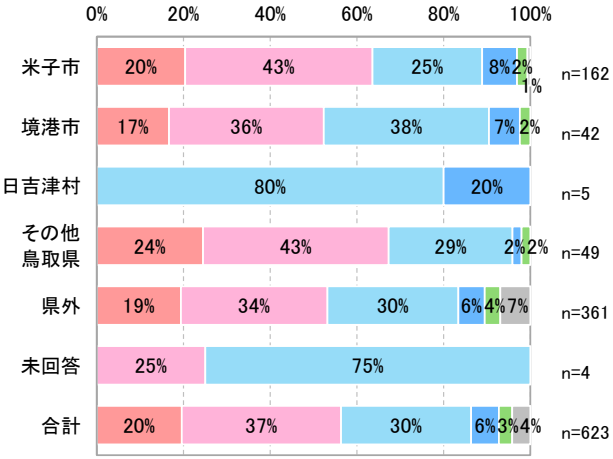
○ 全ての住所において、「①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと」について、「強く思う」、「少し思う」と回答した割合が6割を超えている。

インターチェンジ設置検討配慮項目×住所別[事業所]

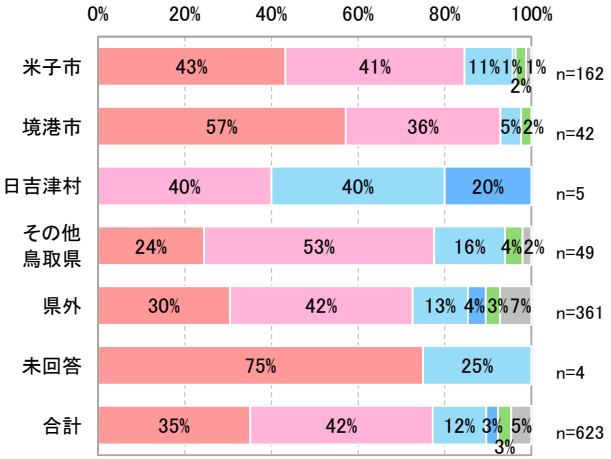
①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと



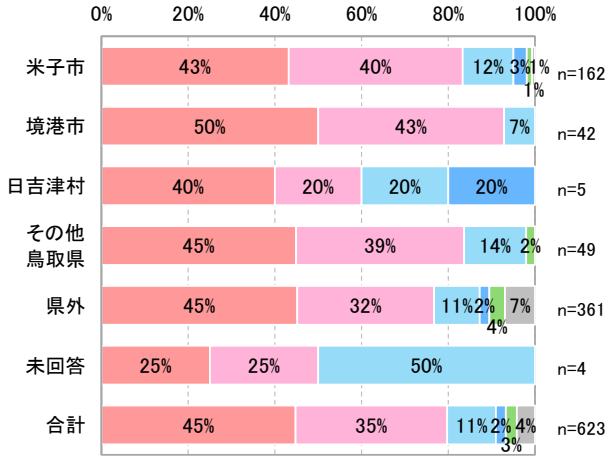
②市役所・役場や防災拠点からアクセスしやすいこと



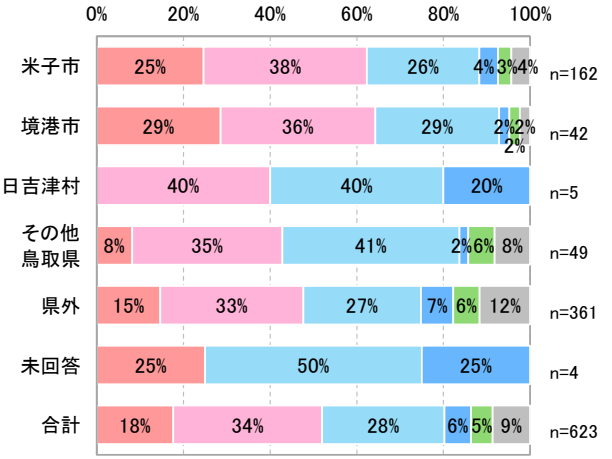
③観光施設・観光地などの観光拠点にアクセスしやすいこと

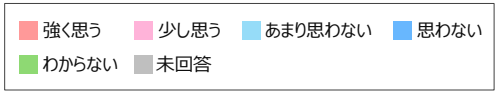


④救急医療機関にアクセスしやすいこと



⑤市街地や居住地からアクセスしやすいこと



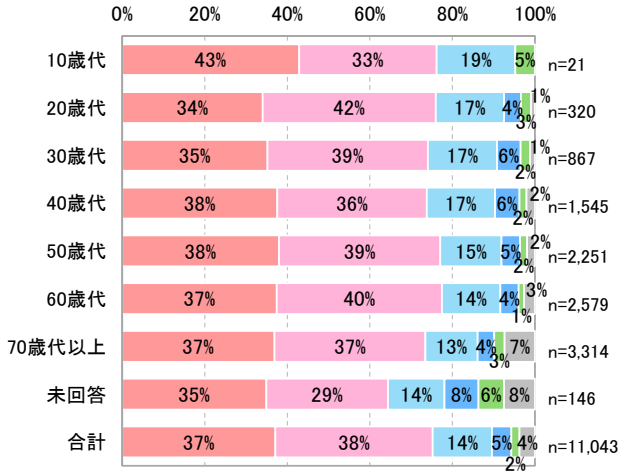


4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-3.インターチェンジの設置を検討する際の配慮すべき項目②（年代別[住民・道路利用者]）

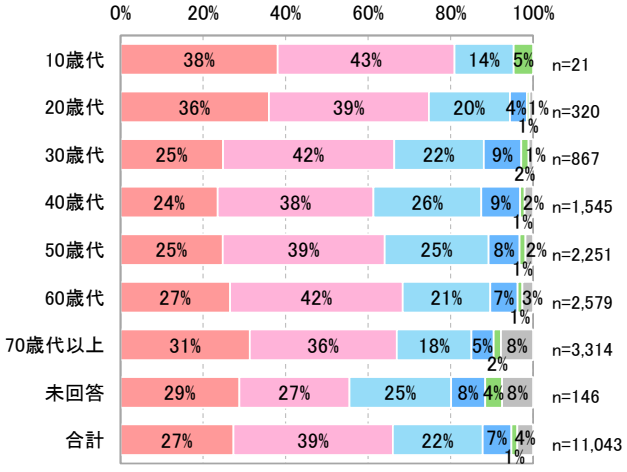
○ 年代別に見ると、「①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと」を除く全ての項目で、若い世代ほど「強く思う」、「少し思う」の回答割合が高い傾向にある。

インターチェンジ設置検討配慮項目×年代別[住民・道路利用者]

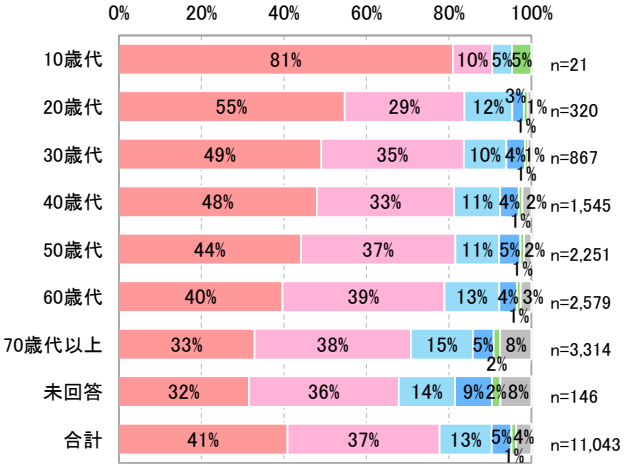
①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと



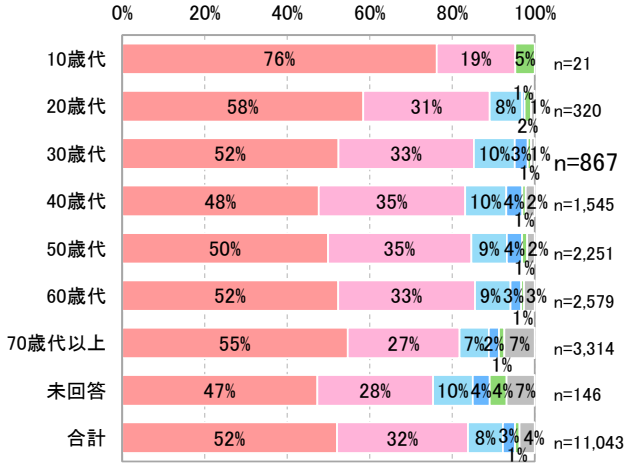
②市役所・役場や防災拠点からアクセスしやすいこと



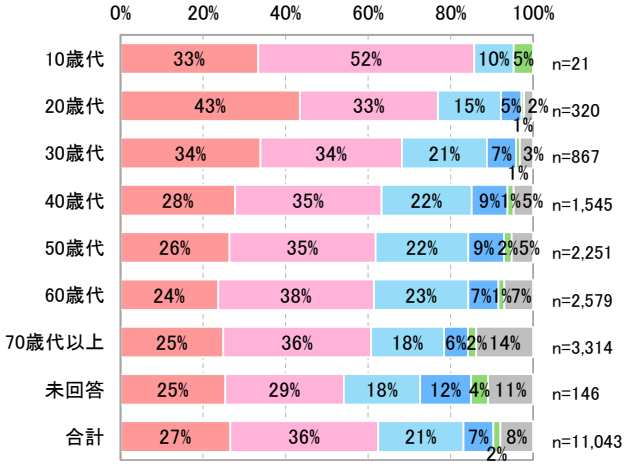
③観光施設・観光地などの観光拠点にアクセスしやすいこと

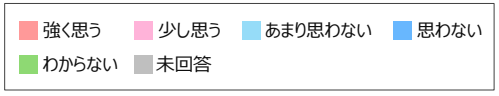


④救急医療機関にアクセスしやすいこと



⑤市街地や居住地からアクセスしやすいこと



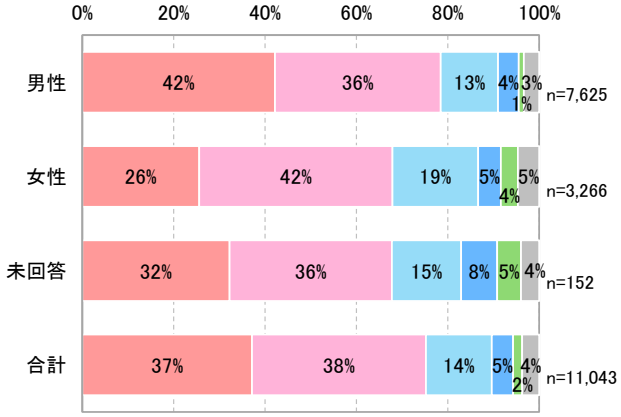


4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-3.インターチェンジの設置を検討する際の配慮すべき項目③（性別[住民・道路利用者]）

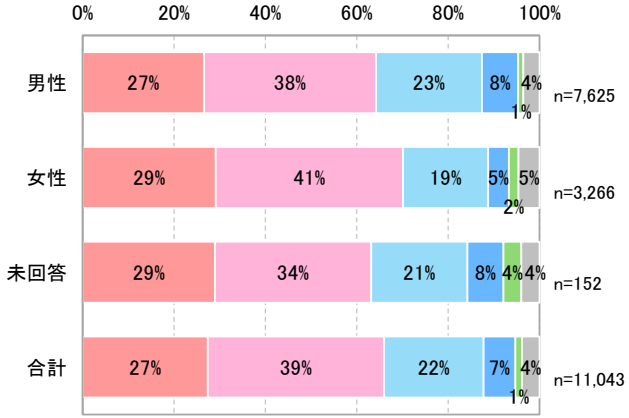
○ 男女別に見ると、「①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと」を除く全ての項目で、女性ほど「強く思う」、「少し思う」の回答割合が高い傾向にある。

インターチェンジ設置検討配慮項目×性別[住民・道路利用者]

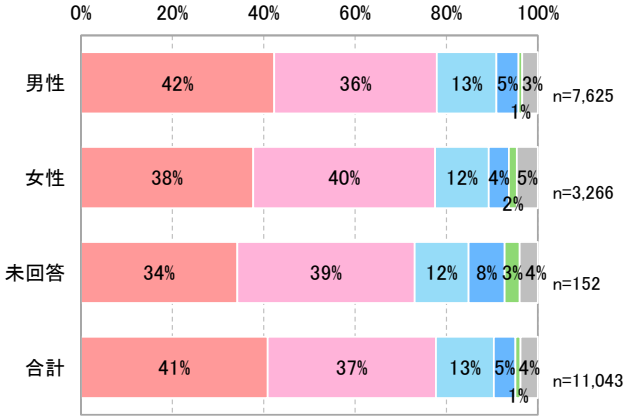
①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと



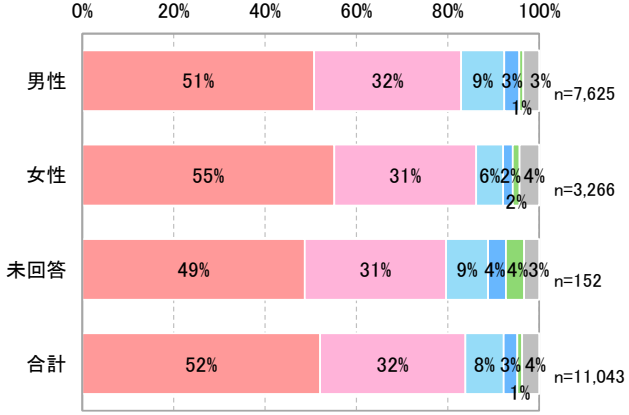
②市役所・役場や防災拠点からアクセスしやすいこと



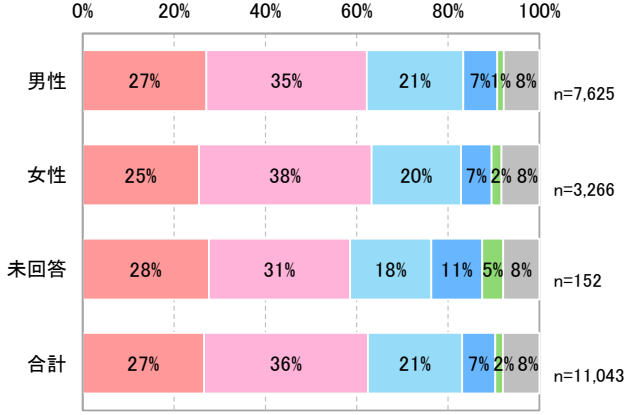
③観光施設・観光地などの観光拠点にアクセスしやすいこと

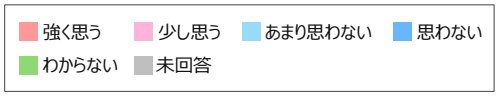


④救急医療機関にアクセスしやすいこと



⑤市街地や居住地からアクセスしやすいこと



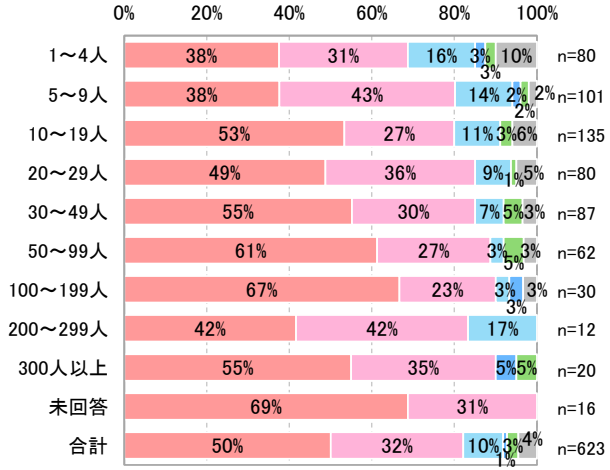


4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-3.インターチェンジの設置を検討する際の配慮すべき項目④（従業員別[事業所]）

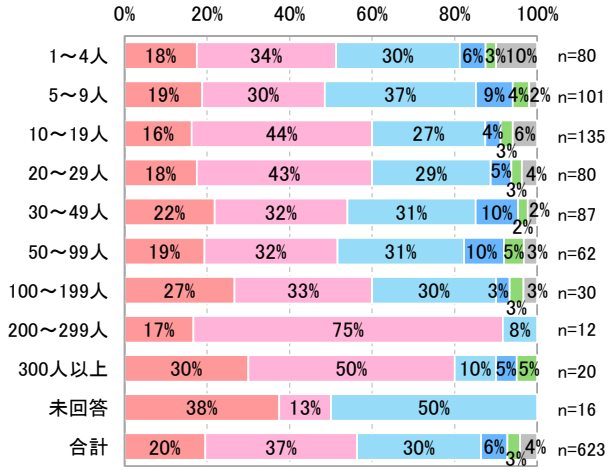
○ 「①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと」については、従業員数が多いほど「強く思う」、「少し思う」の回答割合が高い傾向にある。

インターチェンジ設置検討配慮項目×従業員別[事業所]

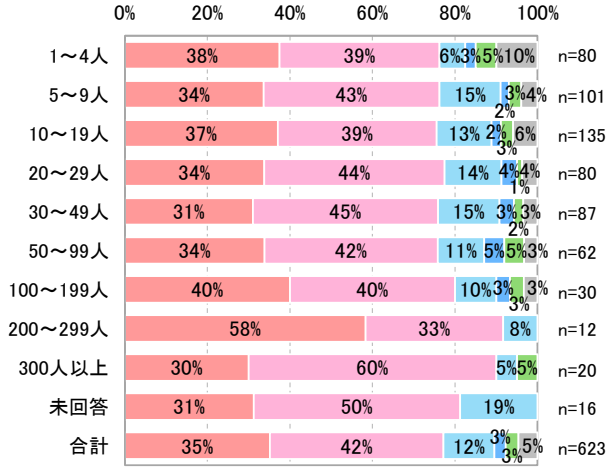
①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと



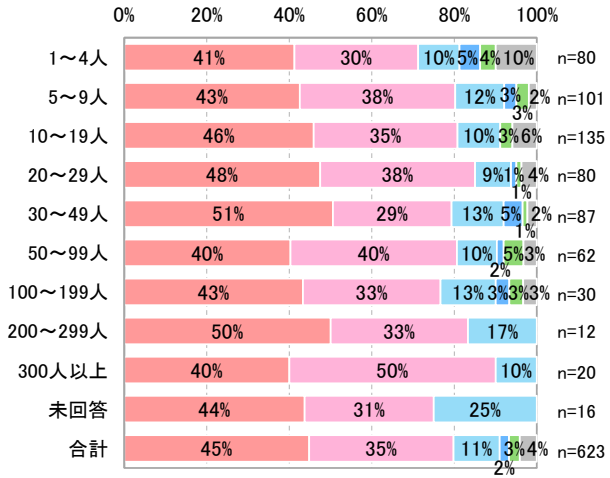
②市役所・役場や防災拠点からアクセスしやすいこと



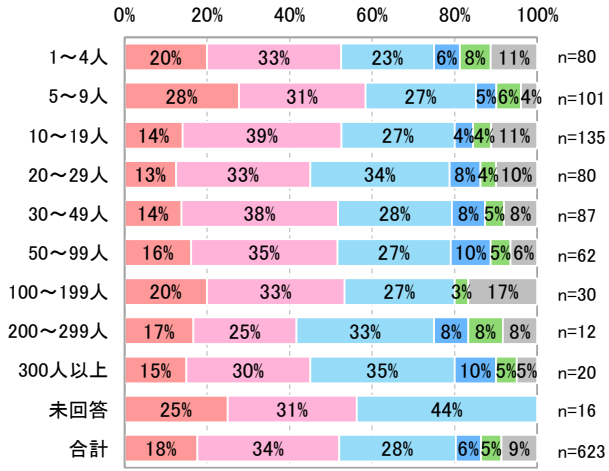
③観光施設・観光地などの観光拠点にアクセスしやすいこと

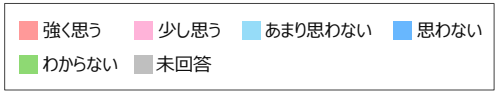


④救急医療機関にアクセスしやすいこと



⑤市街地や居住地からアクセスしやすいこと



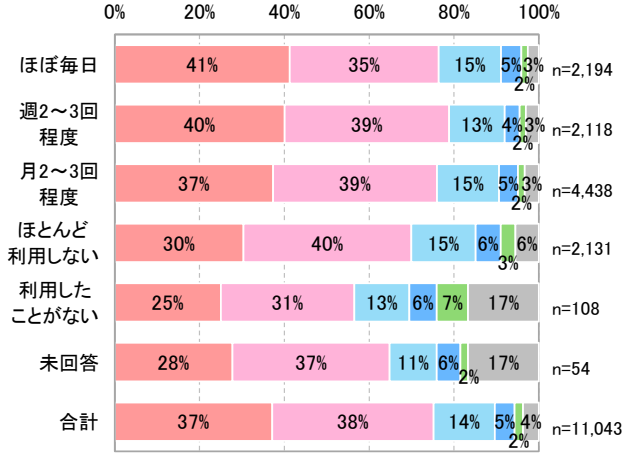


4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-3.インターチェンジの設置を検討する際の配慮すべき項目⑤（利用頻度別[住民・道路利用者]）

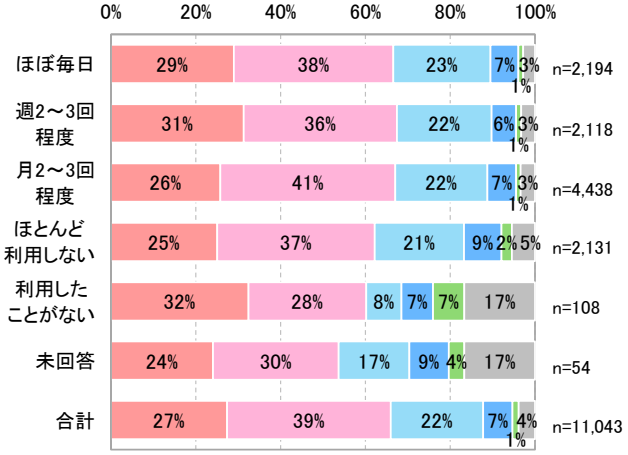
○ 全ての項目において、利用頻度が高いほど、「強く思う」、「少し思う」の回答割合が高い傾向にある。

インターチェンジ設置検討配慮項目×利用頻度別[住民・道路利用者]

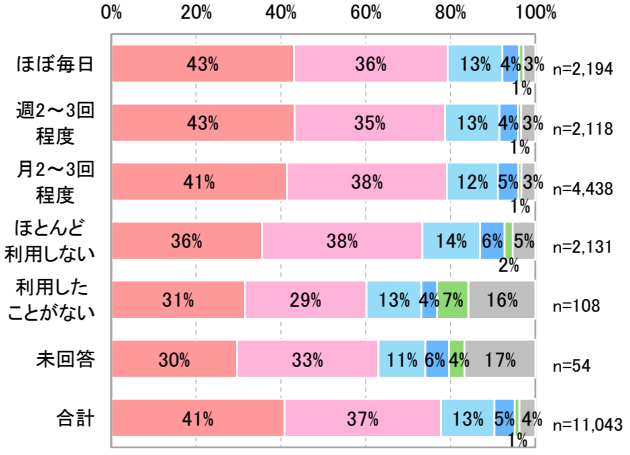
①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと



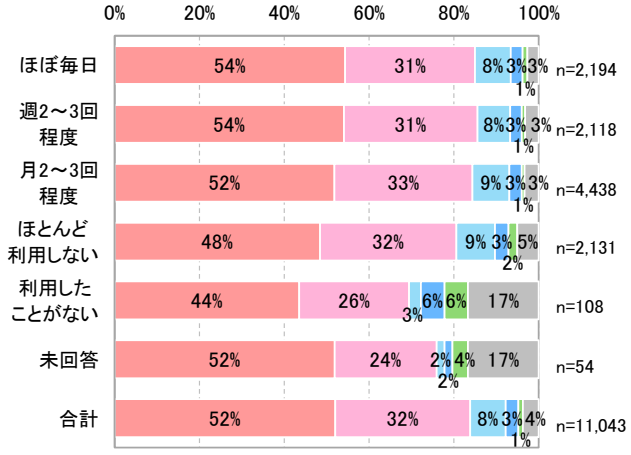
②市役所・役場や防災拠点からアクセスしやすいこと



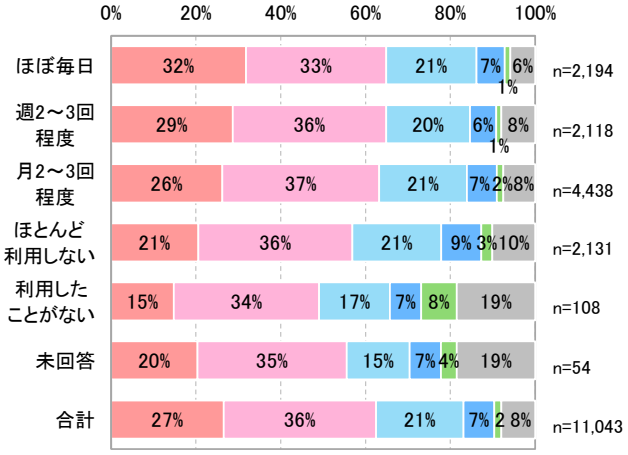
③観光施設・観光地などの観光拠点にアクセスしやすいこと

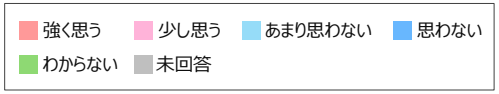


④救急医療機関にアクセスしやすいこと



⑤市街地や居住地からアクセスしやすいこと



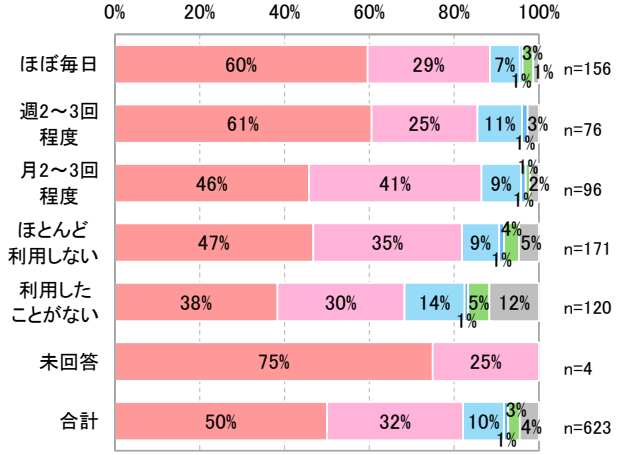


4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-3.インターチェンジの設置を検討する際の配慮すべき項目⑤（利用頻度別[事業所]）

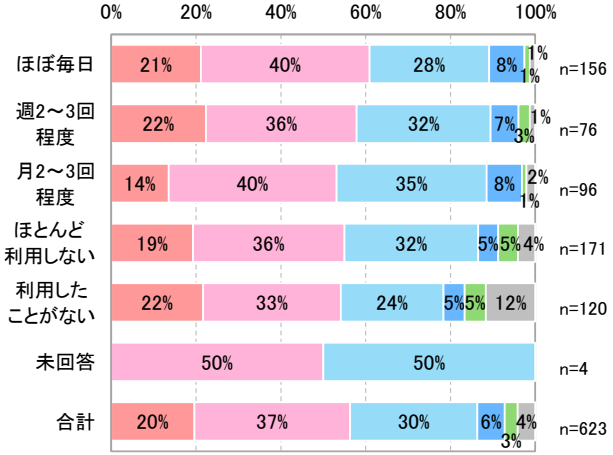
○ 全ての項目において、利用頻度が高いほど、「強く思う」、「少し思う」の回答割合が高い傾向にある。

インターチェンジ設置検討配慮項目×利用頻度別[事業所]

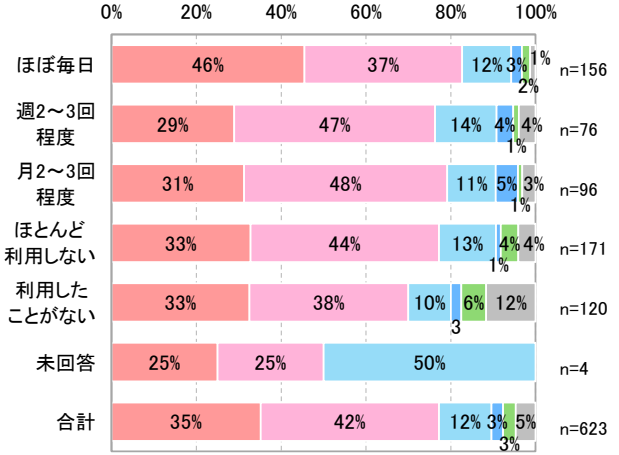
①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと



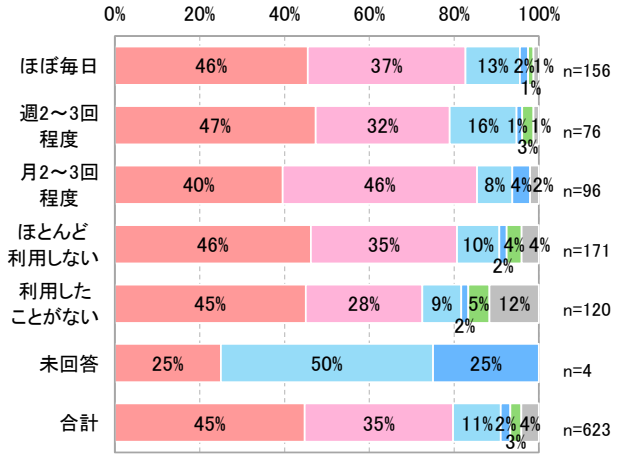
②市役所・役場や防災拠点からアクセスしやすいこと



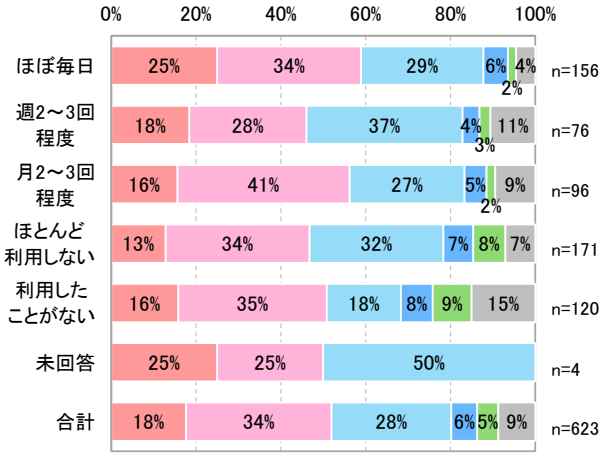
③観光施設・観光地などの観光拠点にアクセスしやすいこと

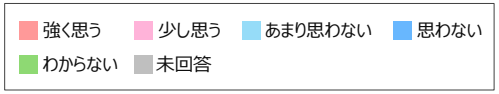


④救急医療機関にアクセスしやすいこと



⑤市街地や居住地からアクセスしやすいこと



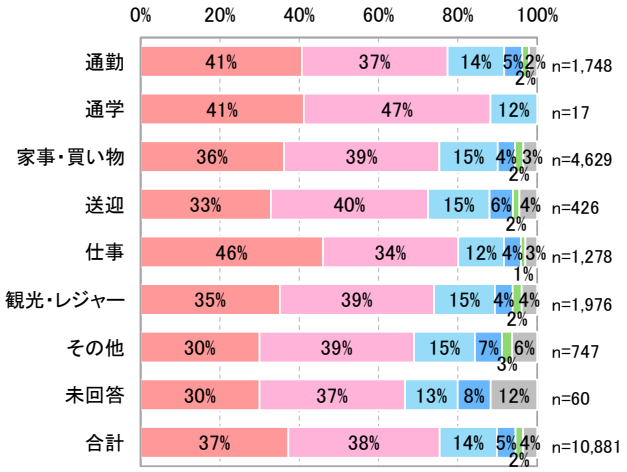


4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-3.インターチェンジの設置を検討する際の配慮すべき項目⑥（利用目的別[住民・道路利用者]）

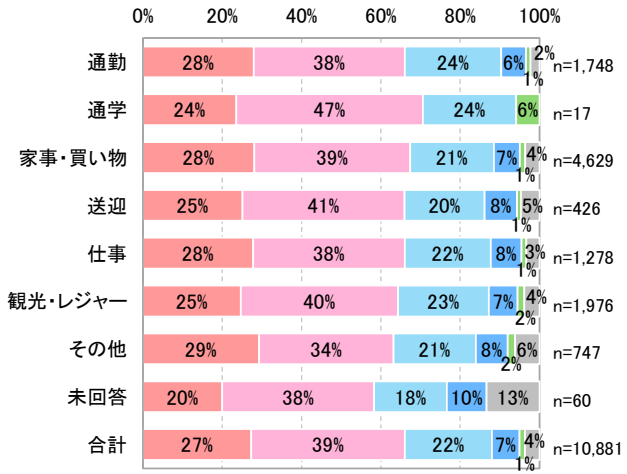
○ 「④救急医療機関にアクセスしやすいこと」について、「強く思う」、「少し思う」と回答した住民・道路利用者の割合は、全ての利用目的で8割を超えている。

インターチェンジ設置検討配慮項目×利用目的別[住民・道路利用者]

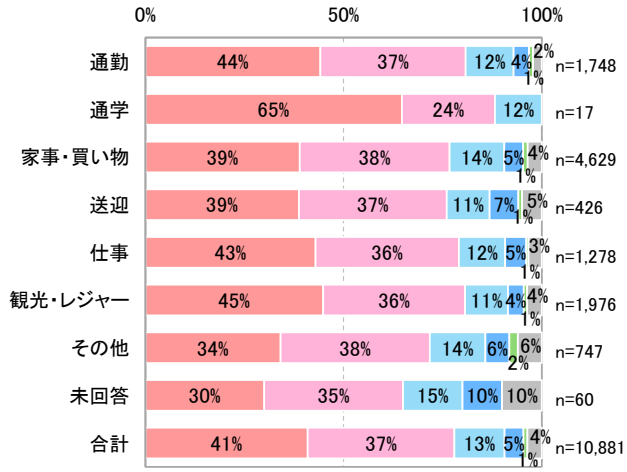
①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと



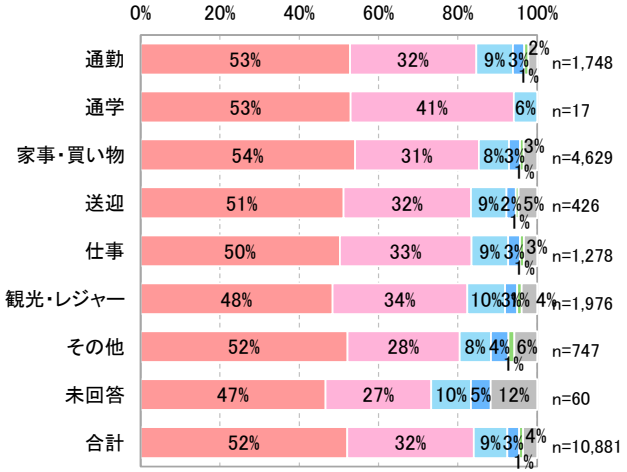
②市役所・役場や防災拠点からアクセスしやすいこと



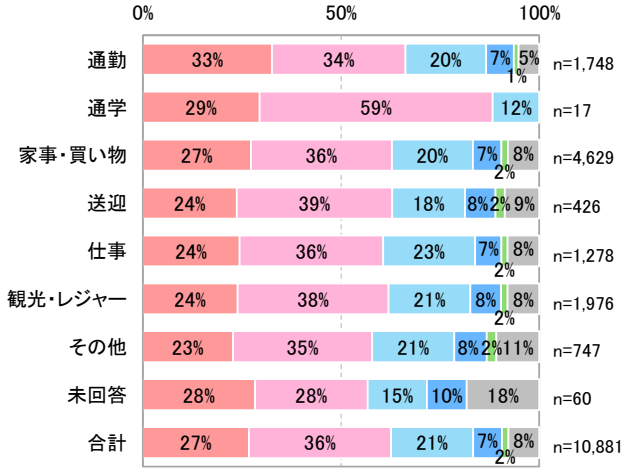
③観光施設・観光地などの観光拠点にアクセスしやすいこと



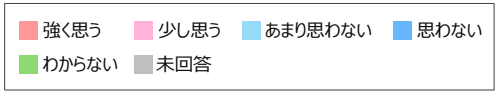
④救急医療機関にアクセスしやすいこと



⑤市街地や居住地からアクセスしやすいこと



※利用頻度で「⑤利用したことがない」を選ばれた方および未回答は除く。

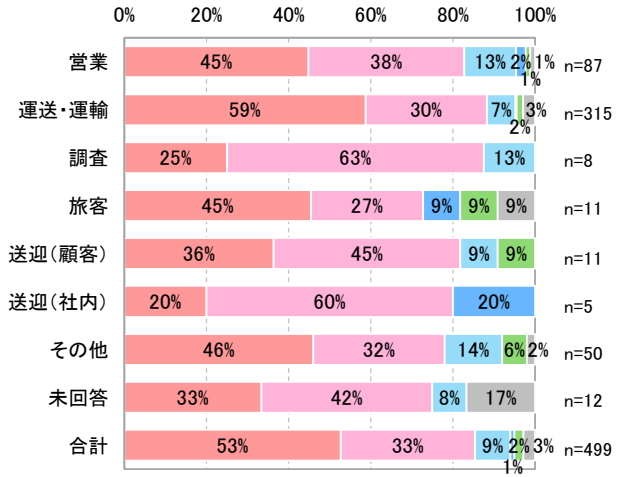


4.意見聴取の結果（クロス集計）
4-3.インターチェンジの設置を検討する際の配慮すべき項目⑥（利用目的別[事業所]）

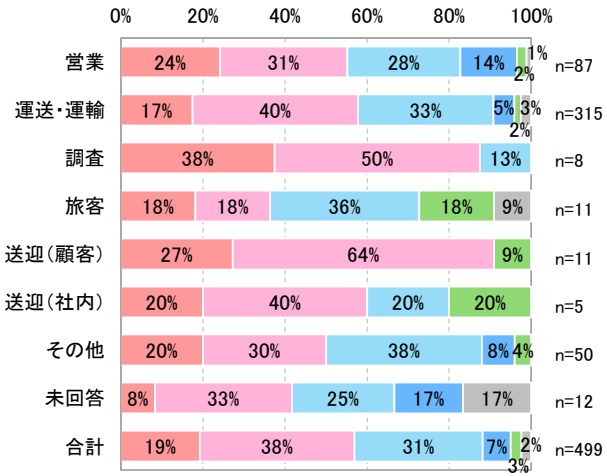
○ 「①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと」について、「強く思う」、「少し思う」と回答した事業所の割合は、全ての利用目的で8割を超えている。

インターチェンジ設置検討配慮項目×利用目的別[事業所]

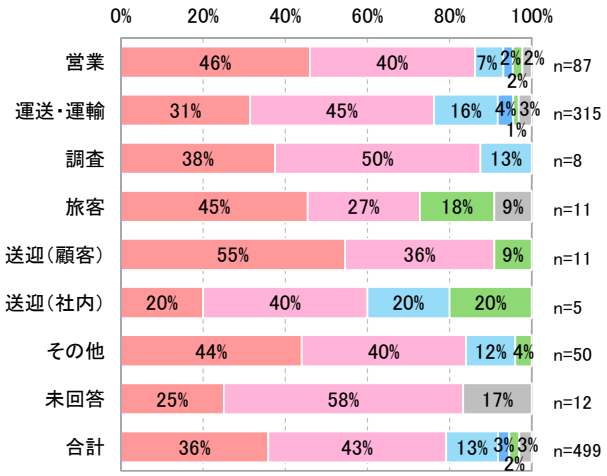
①工業団地・工場などの産業拠点にアクセスしやすいこと



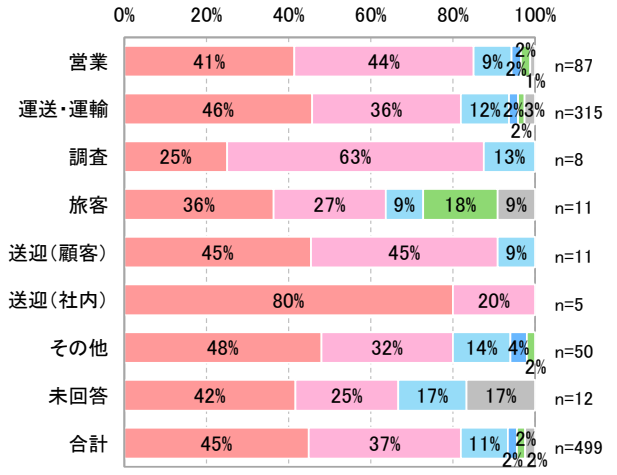
②市役所・役場や防災拠点からアクセスしやすいこと



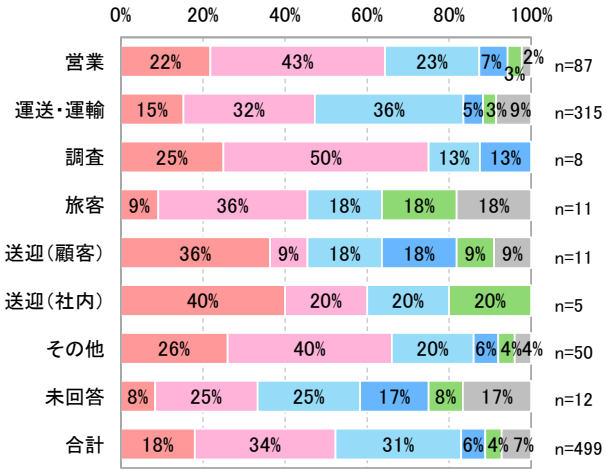
③観光施設・観光地などの観光拠点にアクセスしやすいこと



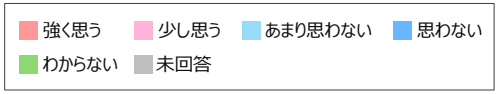
④救急医療機関にアクセスしやすいこと



⑤市街地や居住地からアクセスしやすいこと



※利用頻度で「⑤利用したことがない」を選ばれた方および未回答は除く。

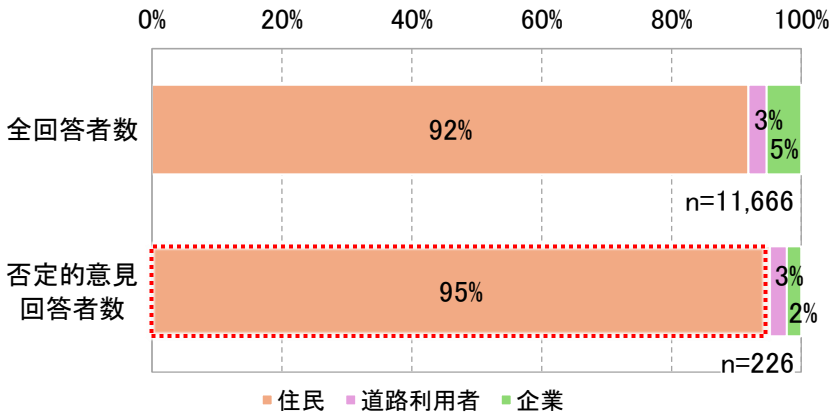


５．意見聴取の結果
（否定的意見）

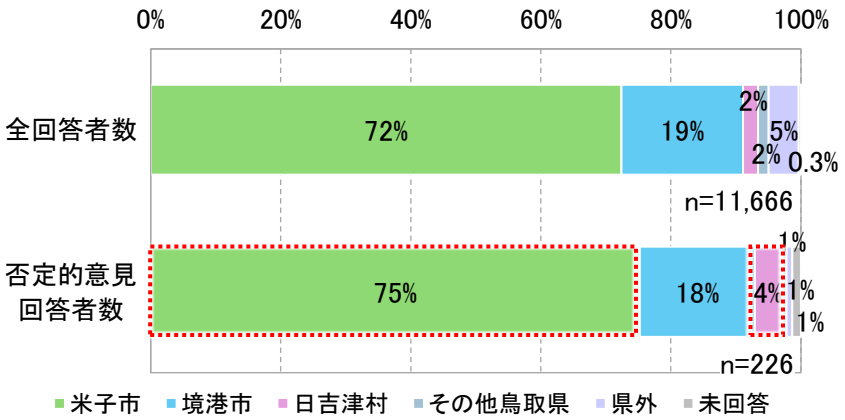
5.意見聴取の結果（否定的意見）
5-1.否定的意見の回答状況と主な意見（質問1）

○ 否定的な意見は、アンケート回答者全体で約1.9%（226件）存在。
○ 否定的意見回答者は、全回答者と比べ「住民」、「米子市」「日吉津村」在住の方、「40歳代」「60歳代」の方、「ほとんど利用しない」方の割合が高い傾向にある。

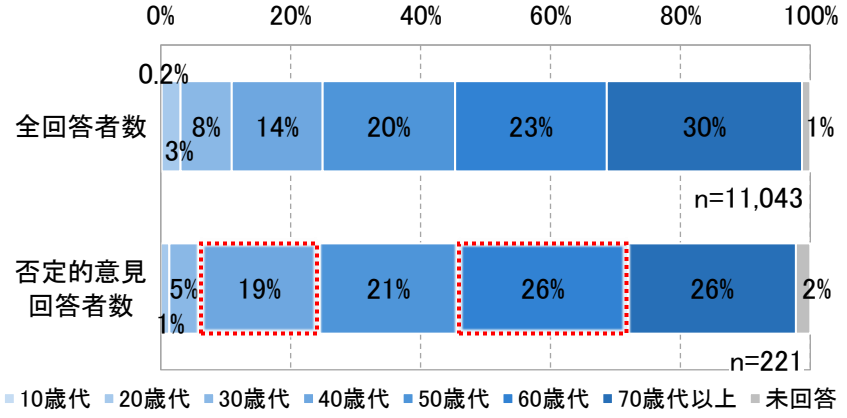
調査対象別



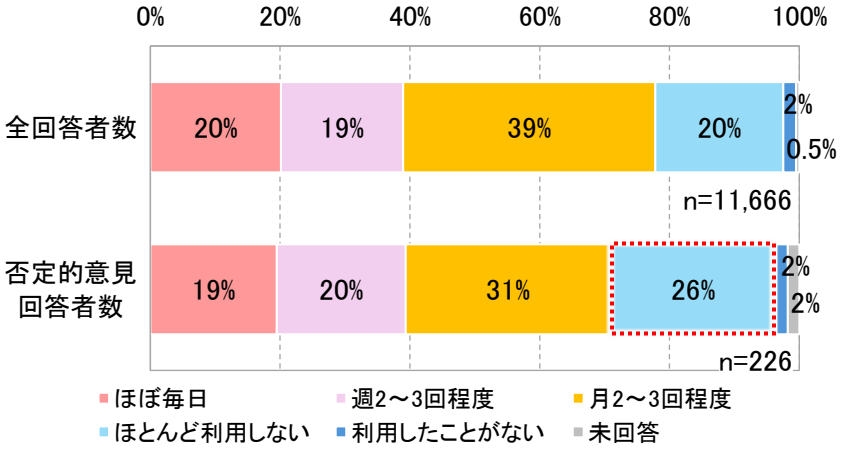
住所別



年代別［住民・道路利用者］



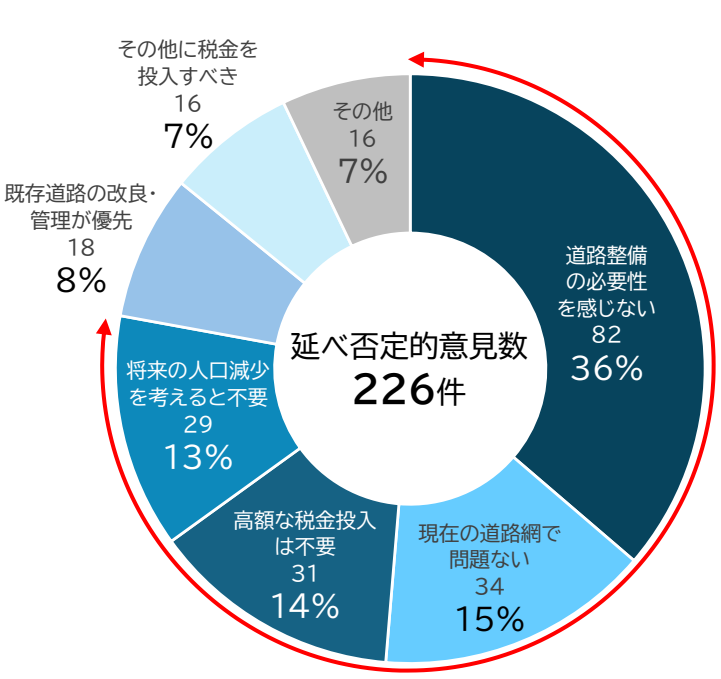
利用頻度別



5.意見聴取の結果（否定的意見）
5-1.否定的意見の回答状況と主な意見（質問1）

○ 否定的意見延べ226件の内訳は、「道路整備の必要性を感じない」と回答された方が約4割と最も多く、次いで「現在の道路網で問題ない」、「高額な税金投入は不要」、「将来の人口減少を考えると不要」と回答された方がそれぞれ1割強となっている。

否定的意見の分類構成比



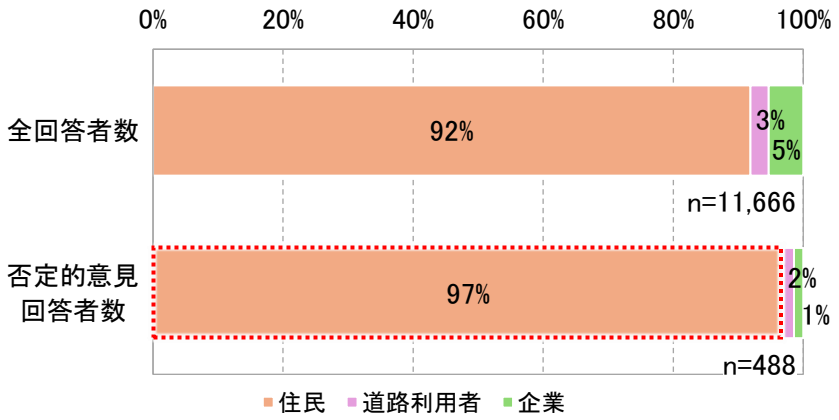
分類別の主な意見（抜粋）

分類	主な意見
道路整備の必要性を感じない	・この道路計画に必要性を感じない。 ・現状と課題をみても高速の必要性を全く感じない。住んでいる人にとって必要ないと思う。
現在の道路網で問題ない	・そもそも現在の国道431号線に不都合、不十分な点はなく、あえて費用をかけてまで高速道路を整備する必要はない。 ・渋滞は主に431号では夜見～日吉津間。それ以外はほとんど起きない。社会的な負担からも境港までの道路の建設は必要ないと思う。
高額な税金投入は不要	・ほんの数十分のために住民に不便を強いて多額の税金を使って道路を作る意味があると思わない。要らない。 ・財源確保のため税金が上がるのは本末転倒。税金を上げられてまで、道路拡充は望まない。
将来の人口減少を考えると不要	・少子高齢化により人口減少、自動車運転者減少になり、新規自動車道不要。 ・将来的な人口減を十二分に考慮すること。人口減が必至な状況なのに新たに道路建設が本当に必要なのか、甚だ疑問。
既存道路の改良・管理が優先	・地域特性からして、米子～境港の短距離の必要性はないと思料する。高速を新たに造成するより、431号を3車線化にする方が良いと思います。 ・境港ICまでは要らないと思う。税金の無駄。それより今ある道路の補修（ライン消えかかっている所多い）などをしてほしい。
その他に税金を投入すべき	・災害に強い、上下水道整備が先である。時間短縮は論外。急ぐ必要なし。 ・道路ではなく、少子化対策か生活改善に税金を使うべき。
その他	・稲作や畑をこれ以上減らす事の方が問題。もっと楽に便利に（産業拡大）よりこの自然を大事にしていくべき。 ・どこのルートにしても生活環境に大きな影響がある、どうして不要だという項目はないのか、米子市にはメリットはない。

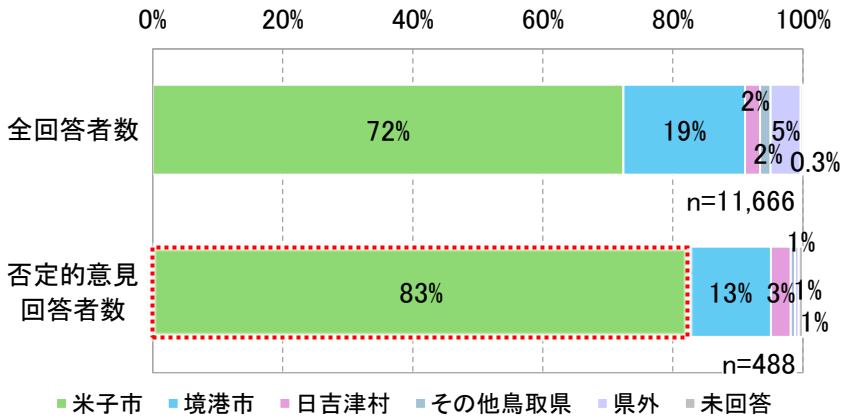
5.意見聴取の結果（否定的意見）
5-2.否定的意見の回答状況と主な意見（質問4）

○ 否定的な意見は、アンケート回答者全体で約4.2%（488件）存在。
○ 否定的意見回答者は、全回答者と比べ「住民」、「米子市」在住の方、「40歳代」「50歳代」の方、「ほとんど利用しない」方の割合が高い傾向にある。

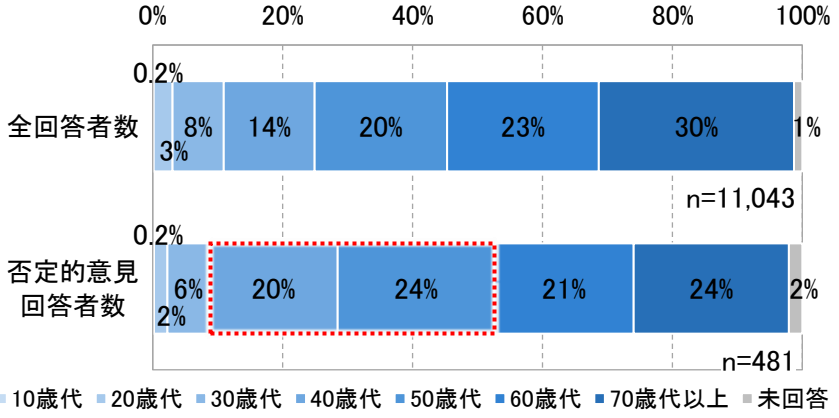
調査対象別



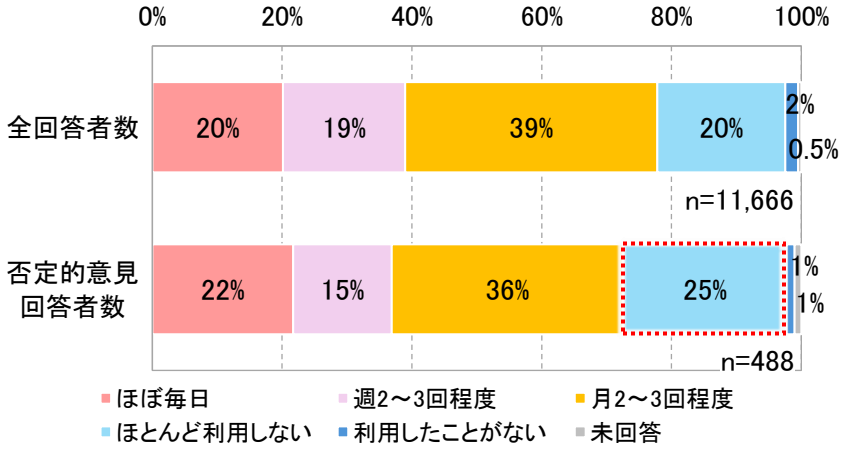
住所別



年代別［住民・道路利用者］



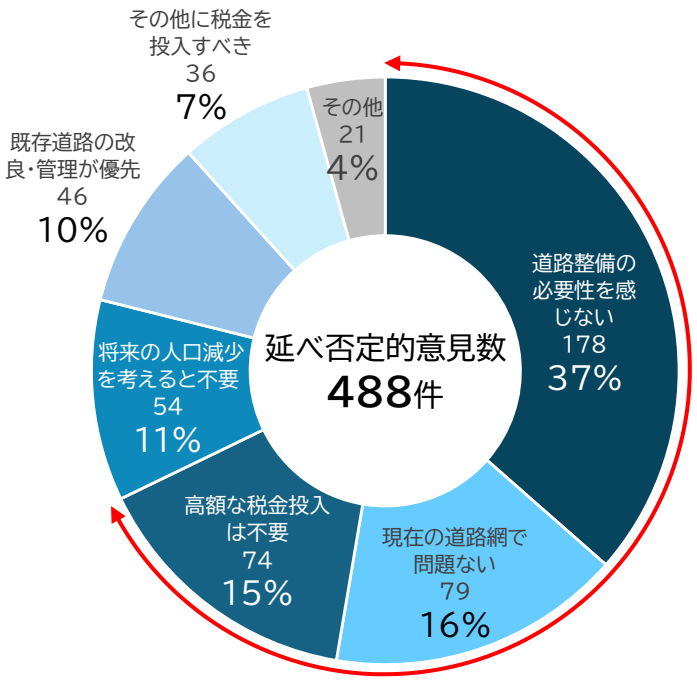
利用頻度別



5.意見聴取の結果（否定的意見）
5-2.否定的意見の回答状況と主な意見（質問4）

○ 否定的意見延べ488件の内訳は、「道路整備の必要性を感じない」と回答された方が約4割と最も多く、次いで「現在の道路網で問題ない」、「高額な税金投入は不要」と回答された方がそれぞれ約2割となっている。

否定的意見の分類構成比



分類別の主な意見（抜粋）

分類	主な意見
道路整備の必要性を感じない	・道路計画には反対です。 ・そもそもこの道路が本当に必要なのか疑問。
現在の道路網で問題ない	・米子～境港間の高速道路建設には反対です。既存道路で全く不便を感じません。 ・高速を作るのは決定なのでしょうか？私は今のままで充分なのでよくわかりません。
高額な税金投入は不要	・R431号線が混雑することはあるが、4,000億円もかけて新たな道路が必要か疑問が残る。 ・そもそも30分短縮するためだけに無駄に税金を使ってまで道路を作る必要性が分からない。
将来の人口減少を考えると不要	・人口が減少する一方である中、新しく道路を整備する必要があるのか疑問に思う。 ・高速道路不要。金銭面で残された子供たちの負担を考えると、不要と判断します。人口が減っていく中で財政が気がかり。市町村民の税金。
既存道路の改良・管理が優先	・既存施設の整備、老朽化対策、歩道の整備にお金を使って下さい。 ・新たな道路建設より現状ある道路の維持に努めていただきたい。近年、路面の表示が消えかかっているところが多々ある。維持する予算もないのに新たな道路建設をしている場合ではない。
その他に税金を投入すべき	・別のところに予算を使ってほしいです。優先順位が高いと感じておりません。 ・税金の使い方をしっかりと検討して欲しい。米子は福祉面がとても遅れているのでその方面にお金を使ってほしい。
その他	・生活環境、自然環境への悪影響を考えたら多額の工事費をかけてまで道路整備する必要はない。